

令和5年度「男女共同参画・共生社会推進に関するアンケート調査」集計結果

1 調査目的

男女共同参画・共生社会推進に関する県民の意見と実態を調査し、今後県が行う男女共同参画・共生社会推進施策を充実させていくための基礎資料とする。

2 アンケート調査の実施期間

令和5年9月

3 調査方法

(1) 郵送配布・郵送回収

(2) インターネット(電子メール連絡・専用ホームページから回答送信)

4 調査対象者(県政モニター)

(1) 一般モニター(郵送によるアンケート調査) 195名

(2) インターネットモニター(専用ホームページによるアンケート調査) 249名

合計 444名

5 回答数(回答率)

(1) 一般モニター(郵送によるアンケート調査) 160名(82.1%)

(2) インターネットモニター(専用ホームページによるアンケート調査) 177名(71.1%)

合計 337名(75.9%)

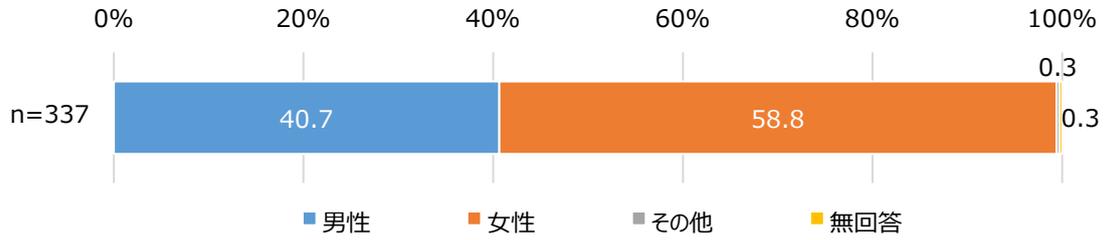
6 その他

(1) 比率は全て百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、回答の合計が100%にならないことがある。

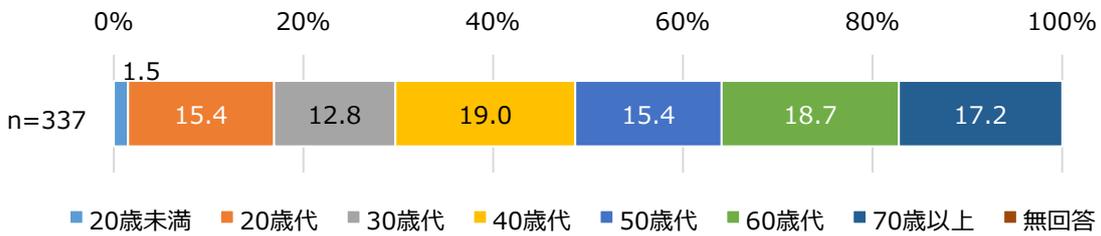
(2) 複数回答が可能な設問については、回答の合計は100%を上回ることがある。

(3) 複数回答が可能な設問については、設問文の末尾にその旨を記載している。

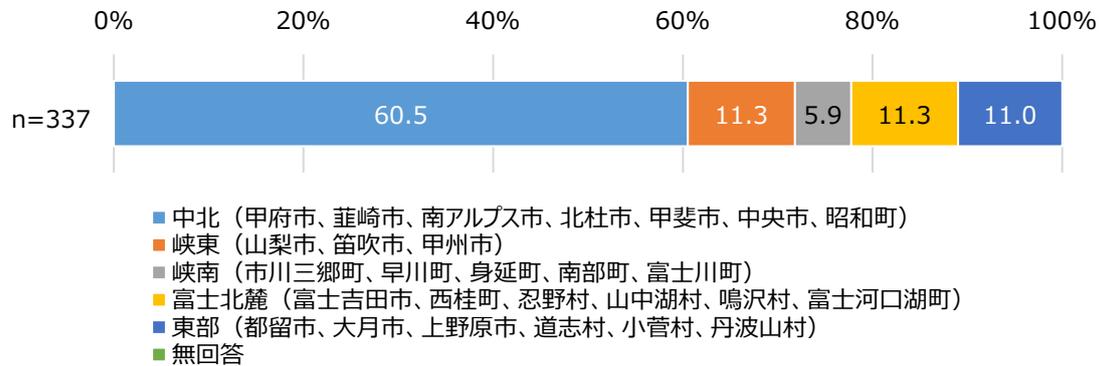
F1 あなたの性別をお答えください。



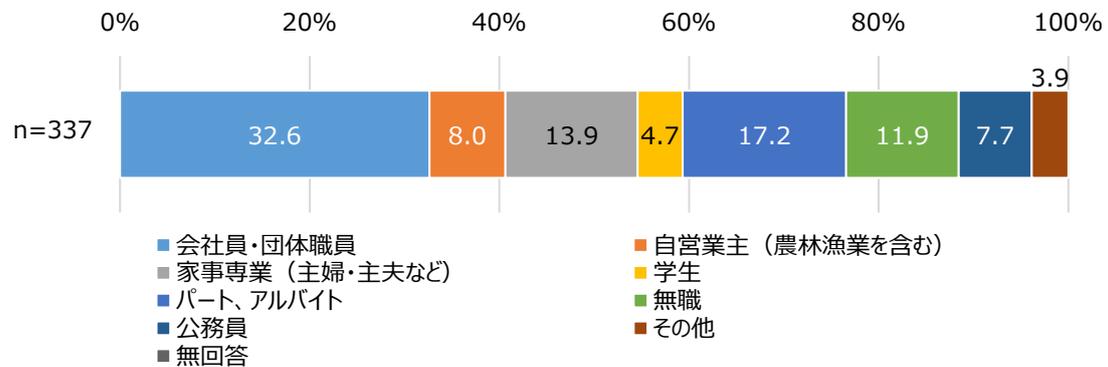
F2 あなたの年齢(令和5年9月1日現在の満年齢)はいくつですか。



F3 あなたが現在お住まいの地域はどこですか。



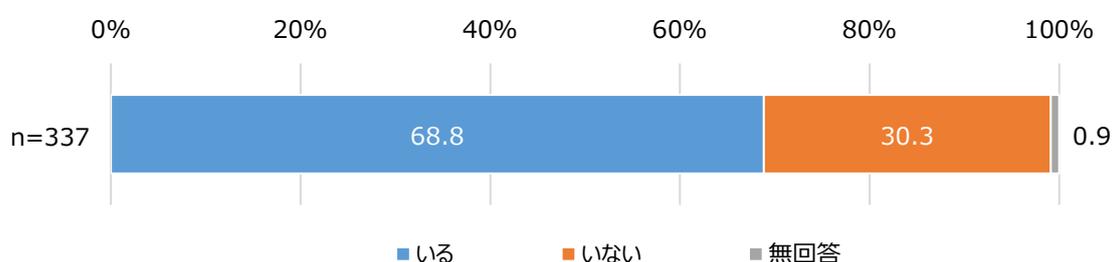
F4 あなたの職業は何ですか。(主なもの1つ)



F5 あなたは結婚していますか。

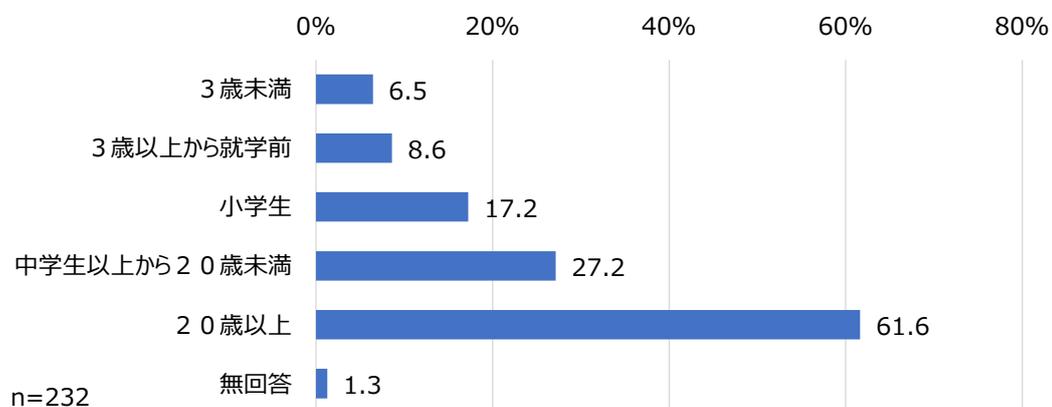


F6 あなたにお子さんはいますか。



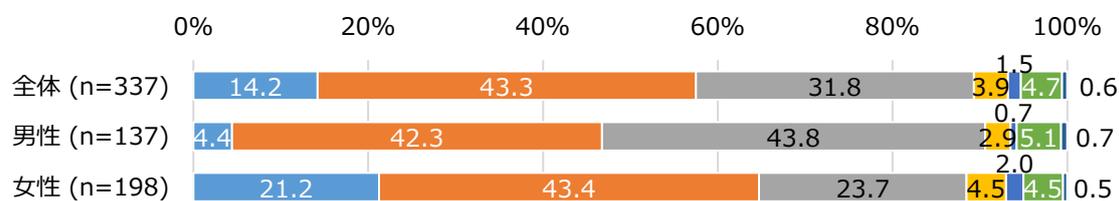
【F6で「いる」と回答した方のみ】

F7 あなたのお子さんの年齢層はどれですか。（複数回答可）



問1 あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

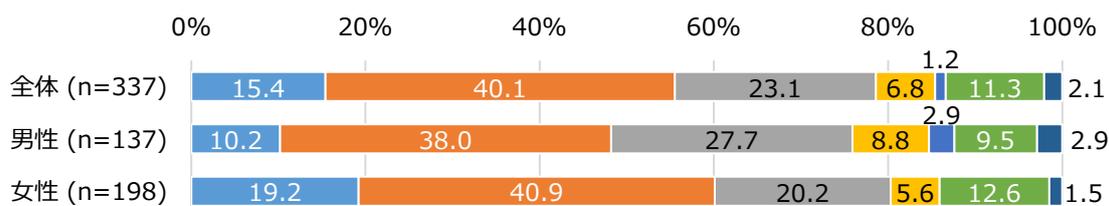
A 家庭生活において



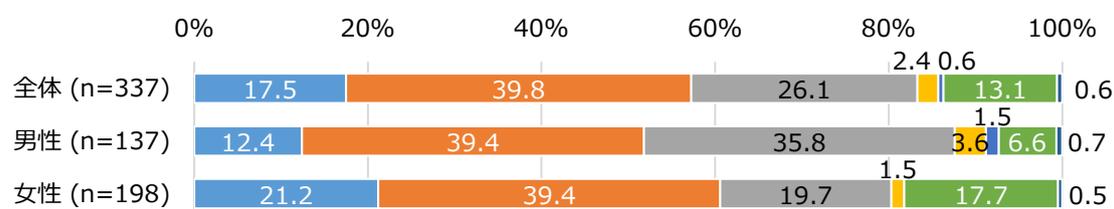
B 学校生活において



C 職場内において



D 地域において



E 社会全体において

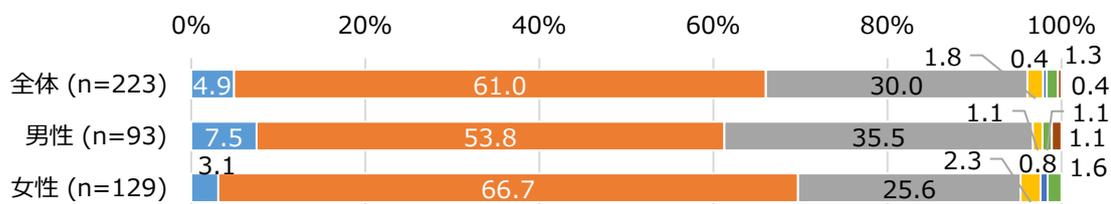


■ 男性優遇 ■ どちらかとい ■ 平等 ■ どちらかとい ■ 女性優遇 ■ わからない ■ 無回答
 うと男性優遇 うと女性優遇

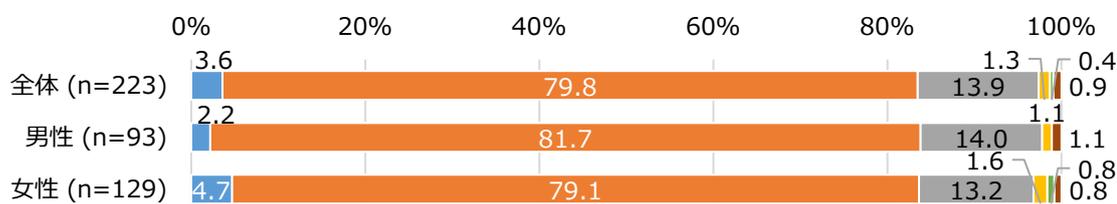
【F5で「既婚(事実婚を含む)」と答えた方のみ】

問2 あなたの家庭では、次のような家事等(A~G)や最終決定(H~J)を主にどなたが担当しているでしょうか。

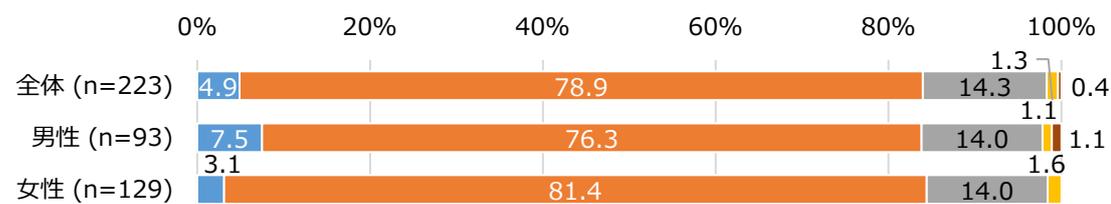
A 掃除



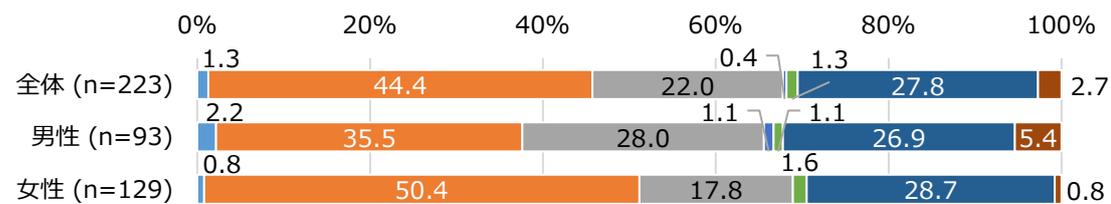
B 洗濯



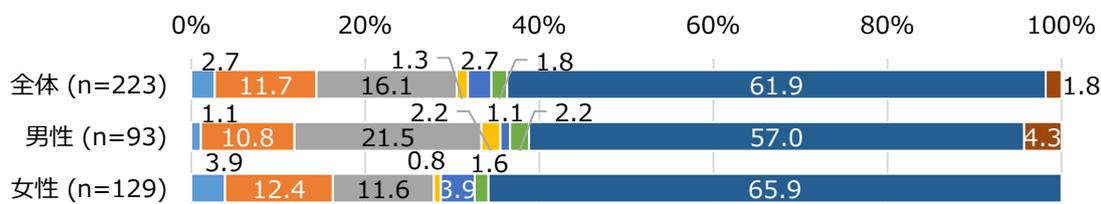
C 食事のしたく



D 育児

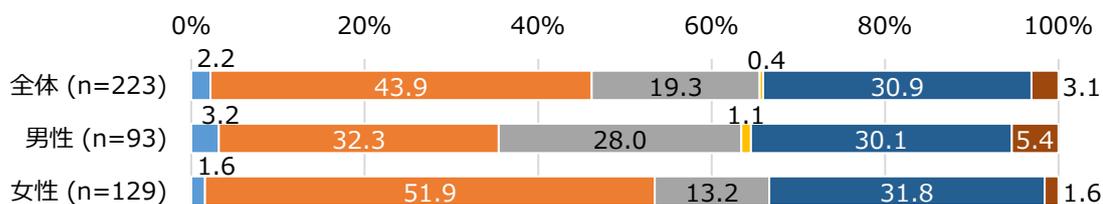


E 高齢者などの介護

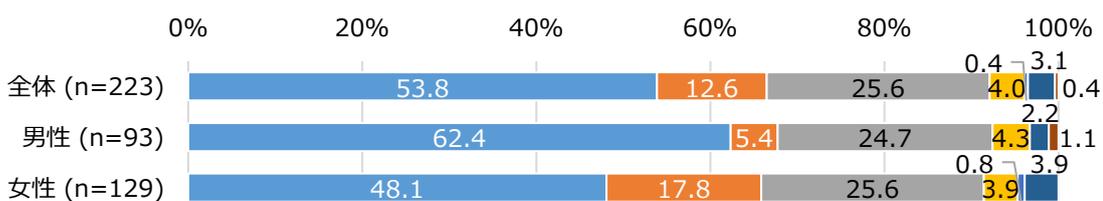


■ 夫 ■ 妻 ■ 夫と妻が同じ程度 ■ 夫婦以外の家族 ■ ホームヘルパー等の外部サービス ■ 家族全員 ■ 該当なし ■ 無回答

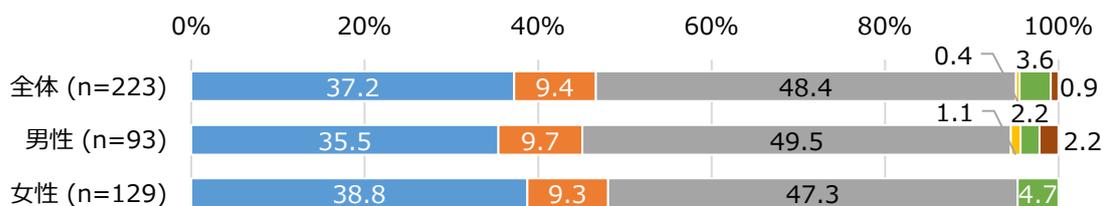
F 授業参観などの学校行事への参加



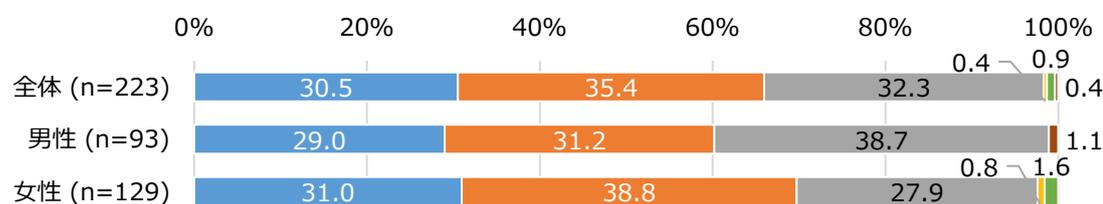
G 地域の行事(自治会等)などの活動



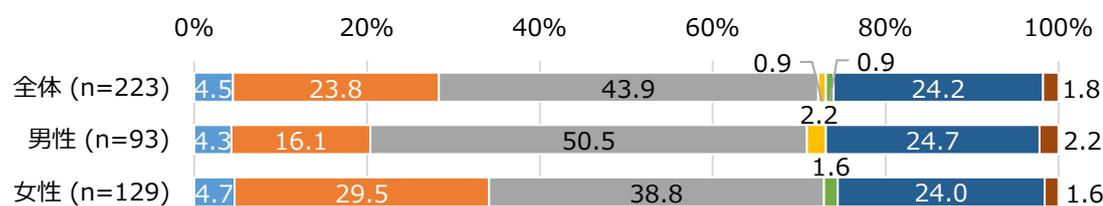
H 高額な商品(テレビ家具等)の購入



I 財産の管理



J 子どもの教育・就職



■ 夫 ■ 妻 ■ 夫と妻が同じ程度 ■ 夫婦以外の家族 ■ ホームヘルパー等の外部サービス ■ 家族全員 ■ 該当なし ■ 無回答

※凡例の「該当なし」については D, E, F, G, H, J のみの選択肢。

問3 あなたとあなたの配偶者が、それぞれ1日のうちで家事、育児、介護に費やす平均時間はどのようであるか。

※家事とは・・・ 炊事、食事の後片づけ、掃除、洗濯、衣類整理、家計簿の記入、庭の草取り、通勤・通学などの送迎、単身者が行う炊事・洗濯・掃除等、家族の身の回りの世話（但し、小学校入学前の子どもの世話は育児に含まれる。）

※育児とは・・・ 乳幼児・小学校入学前の子どもの身の回りの世話、子どものつきそい、子どもの勉強相手、子どもの遊び相手

※介護とは・・・ 日常生活における家族・親族の入浴・トイレ・移動・食事などの手助け、看病、一時的な病気などで寝ている家族の介護・看護

【有効回答数】※回答者本人とその配偶者について回答するため、有効回答数はアンケート回答者数(男性 137 人、女性 198 人)を上回ることがあります。

家事平日 男性 178 人分 女性 260 人分

休日 男性 127 人分 女性 196 人分

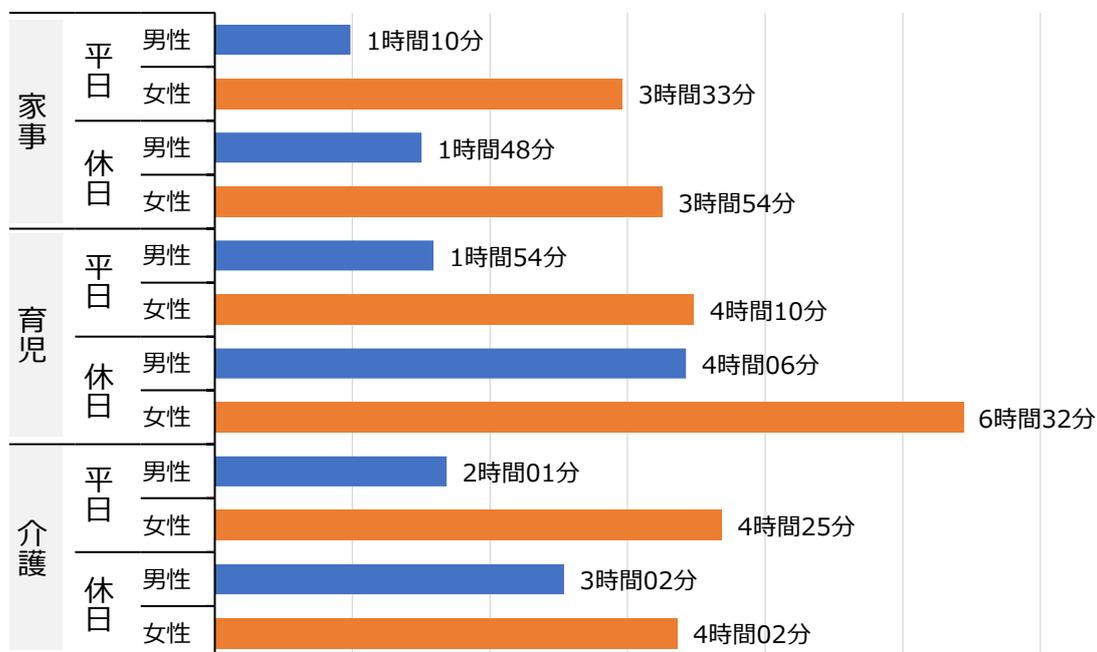
育児平日 男性 65 人分 女性 83 人分

休日 男性 44 人分 女性 59 人分

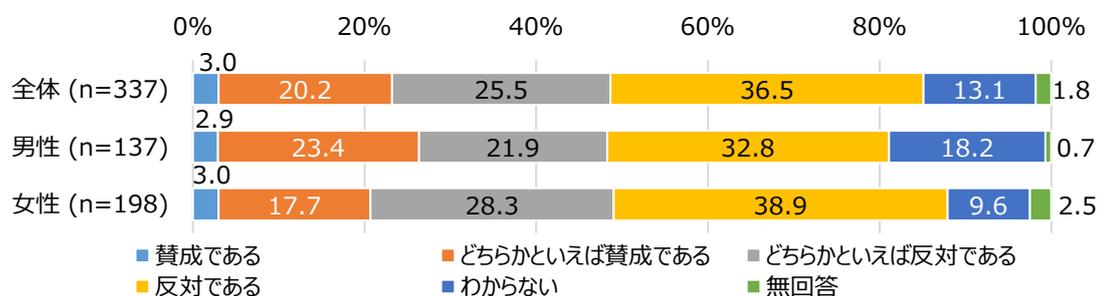
介護平日 男性 24 人分 女性 28 人分

休日 男性 22 人分 女性 24 人分

平均時間



問4 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考えに賛成ですか、反対ですか。



問5 仕事と生活の調和において、男性、女性のそれぞれについて望ましい形とと思うものを選んでください。また、あなたの現在の状況に最も近いものを選んでください。

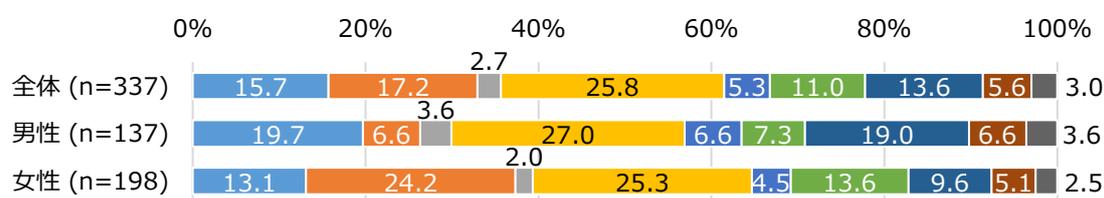
A 男性にとって望ましい形



B 女性にとって望ましい形

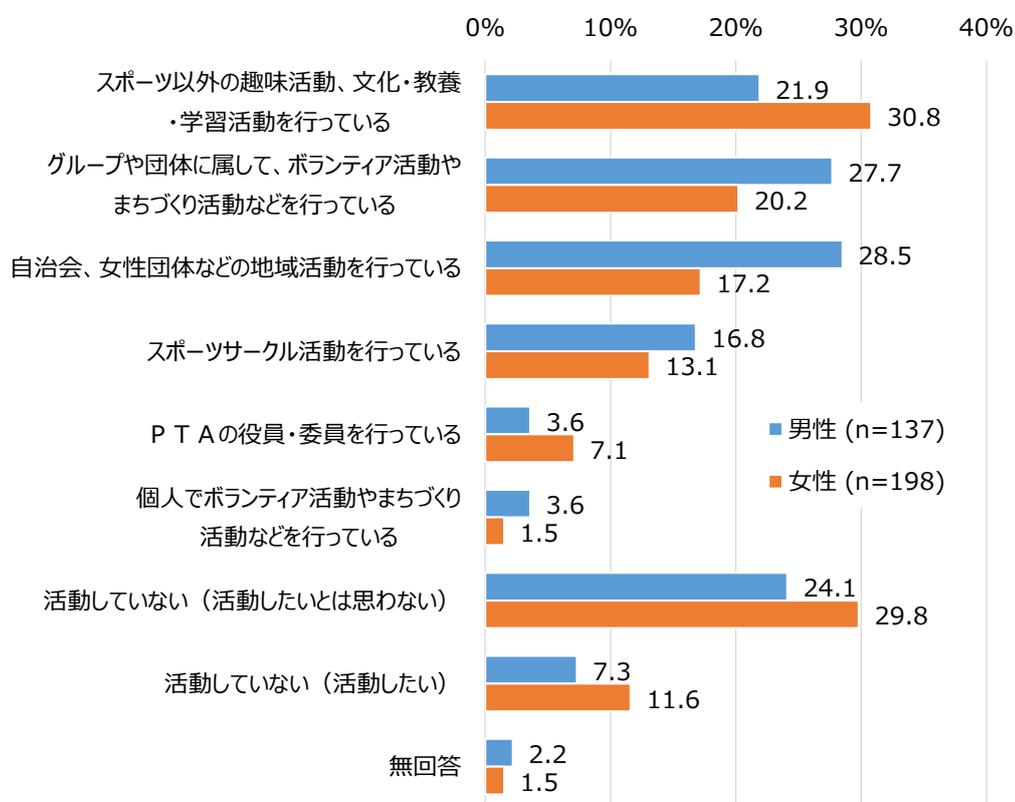


C あなたの現在の状況



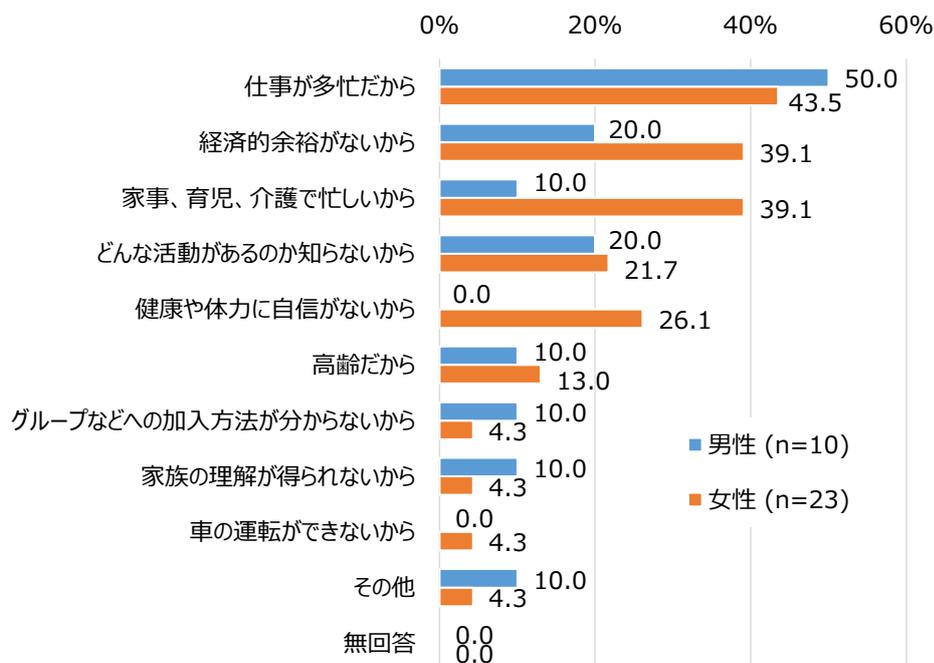
- 「仕事」を優先する
- 「家庭生活」を優先する
- 「仕事」と「家庭生活」をともに優先する
- 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先する
- 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先する
- 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をいずれも優先する
- わからない
- 無回答

問6 あなたは現在、家庭の外で(仕事以外に)何か活動をしていますか。(複数回答可)

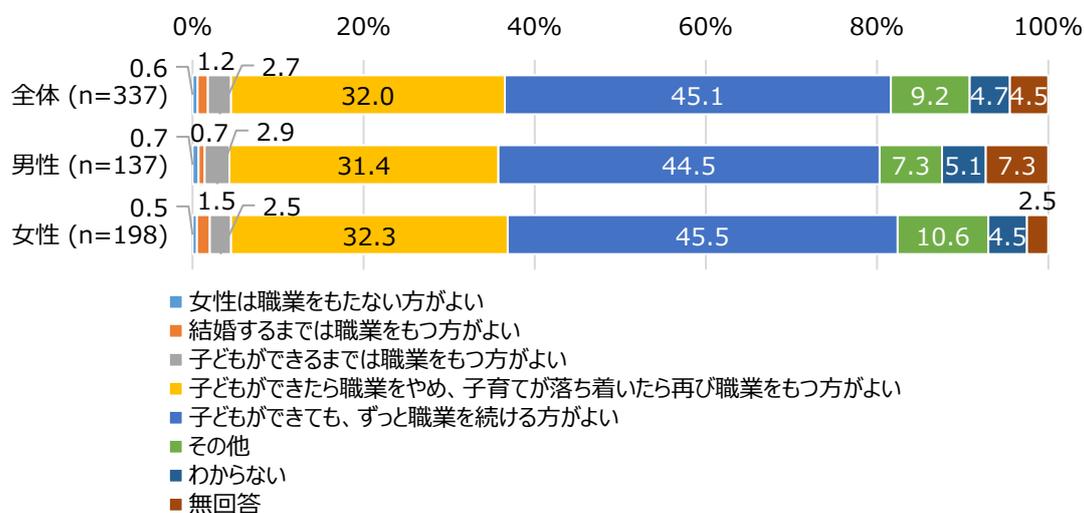


【問6で「活動していない(活動したい)」と答えた方のみ】

問6-1 活動したいのに活動していない理由は何ですか。(3つまで回答可)

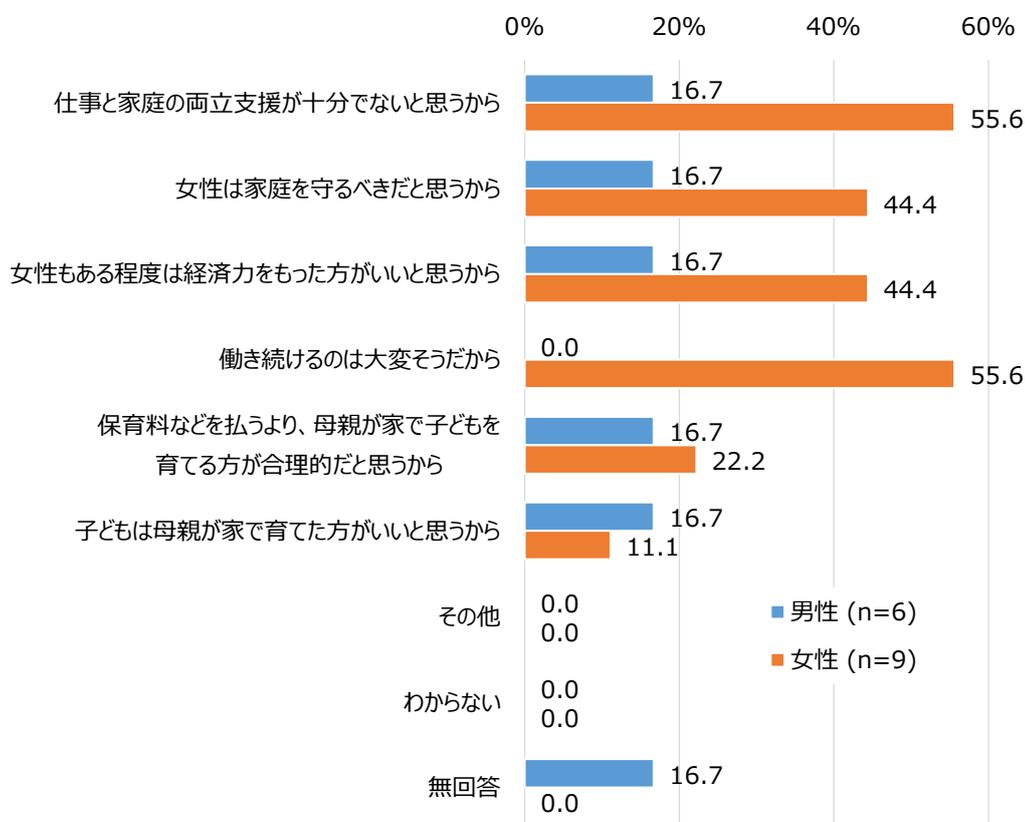


問7 女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。



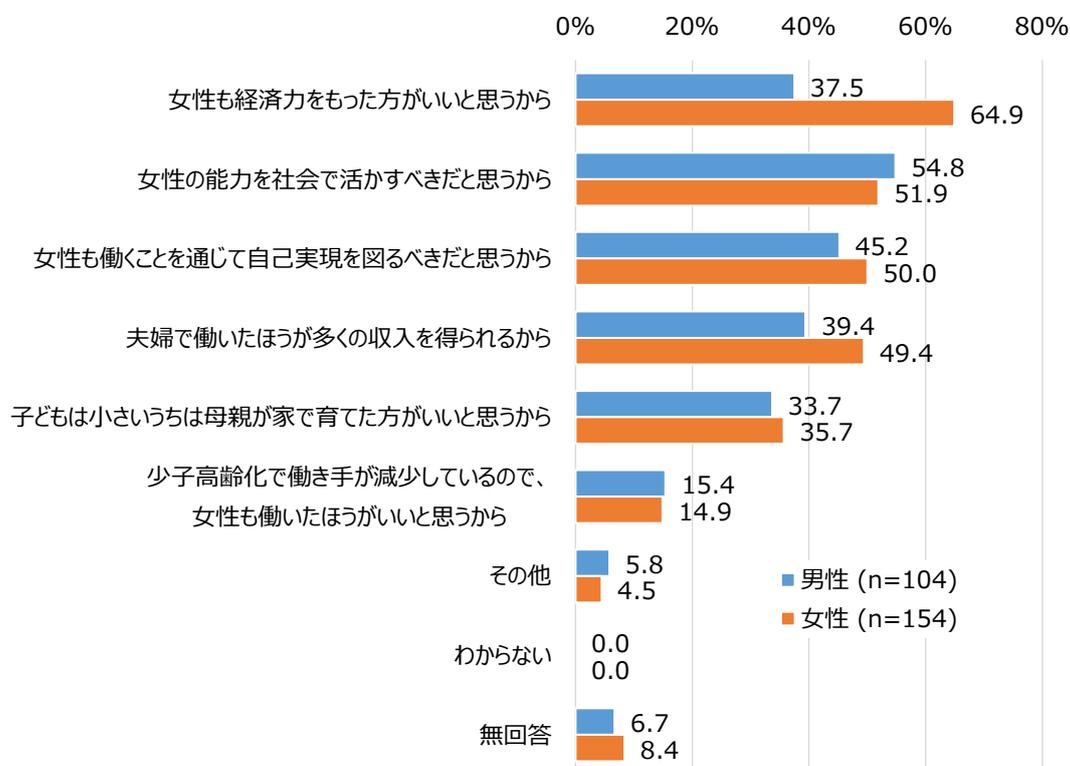
【問7で「女性に職業をもたない方がよい」、「結婚するまでは職業をもつ方がよい」、「子どもができるまでは職業をもつ方がよい」と答えた方のみ】

問7-1 その理由は何ですか。(複数回答可)



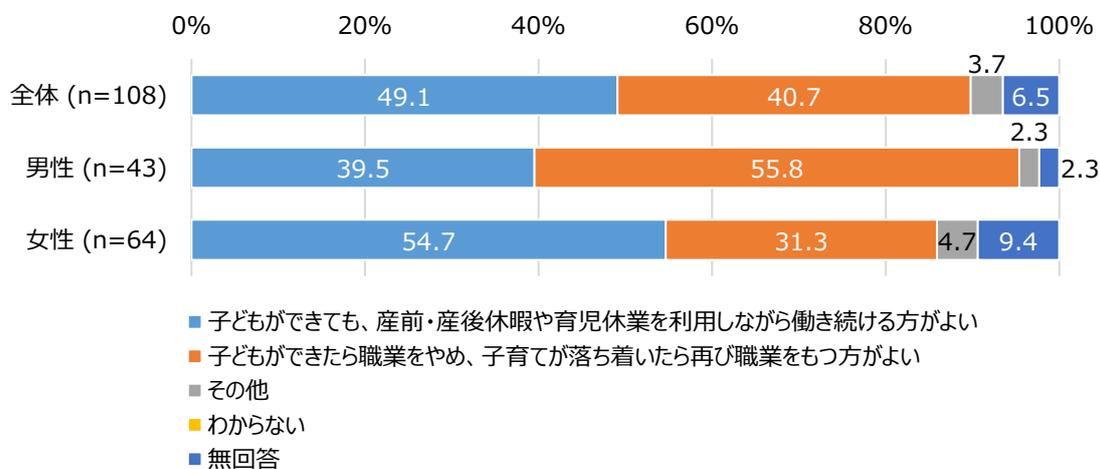
【問7で「子どもができたら職業をやめ、子育てが落ち着いたら再び職業をもつ方がよい」、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と答えた方のみ】

問7-2 その理由は何ですか。(複数回答可)



【問7で「子どもができたら職業をやめ、子育てが落ち着いたら再び職業をもつ方がよい」と答えた方のみ】

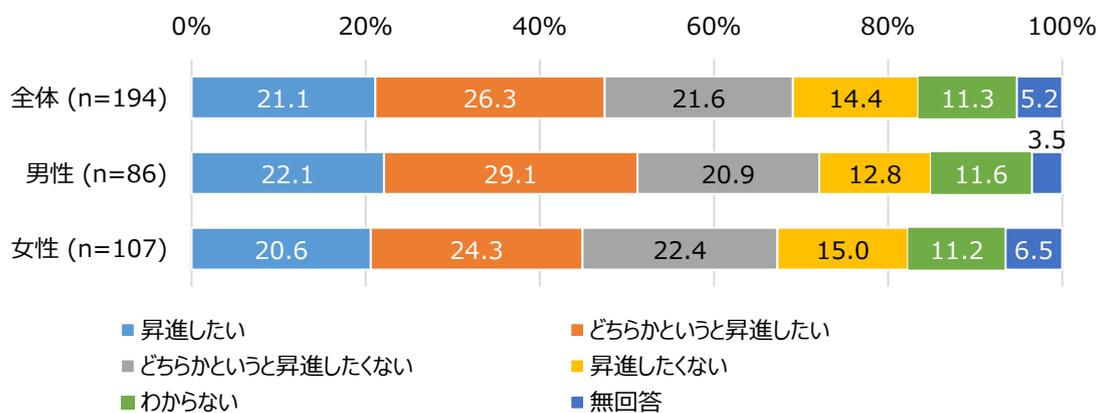
問7-3 もし現在よりも、仕事と子育ての両立がしやすい環境にあるとしたら、どのように考えますか。



【F4で「会社員・団体職員」、「パート、アルバイト」、「公務員」と答えた方のみ】

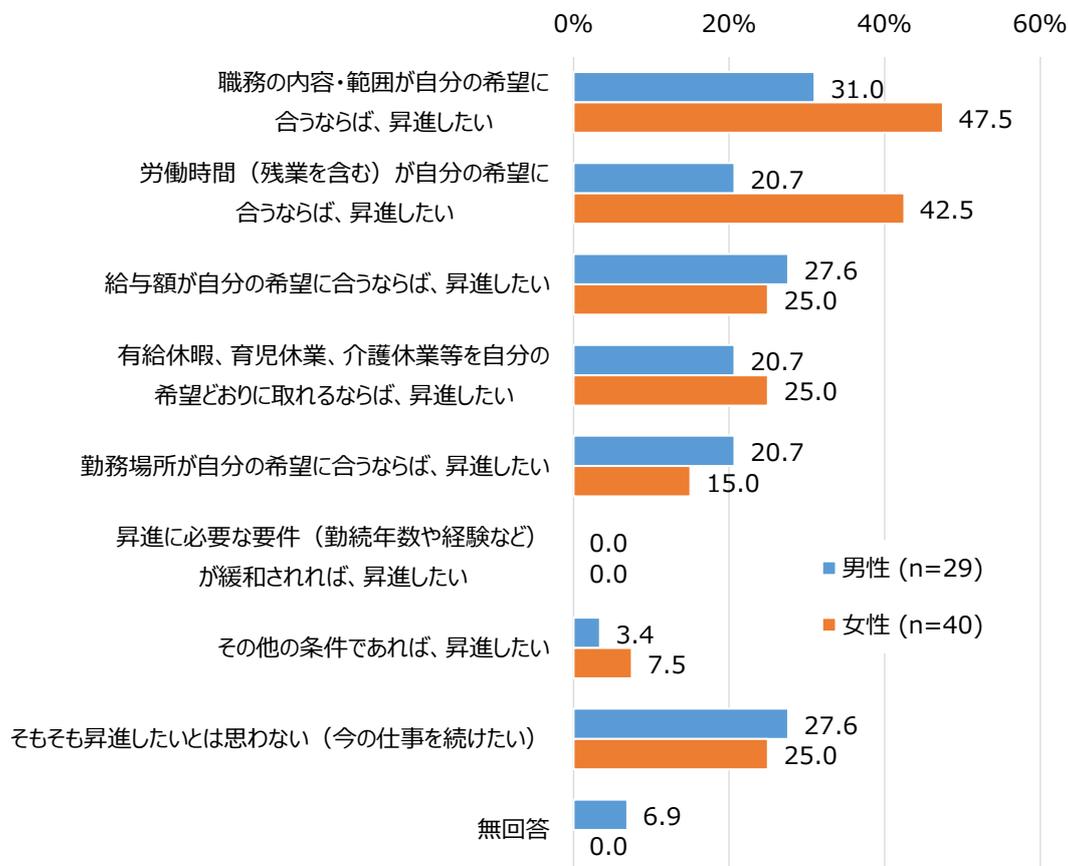
問8 あなたは、現在の職場で昇進の機会があれば昇進したいと思いますか。

※昇進とは・・・現在より権限や責任が大きい仕事に就くことをいい、非正社員の方が正社員に登用されることを含みます。

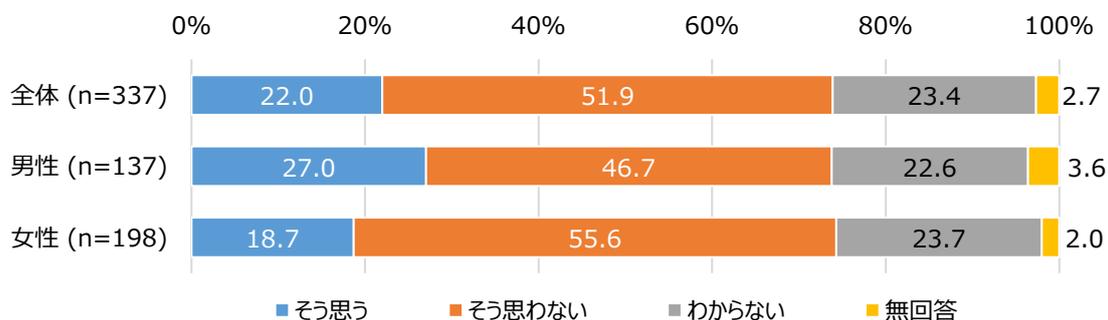


【問8で、「どちらかというと昇進したくない」、「昇進したくない」と答えた方のみ】

問8-1 次の場合、あなたは現在の職場で昇進したいと思いますか。(3つまで回答可)

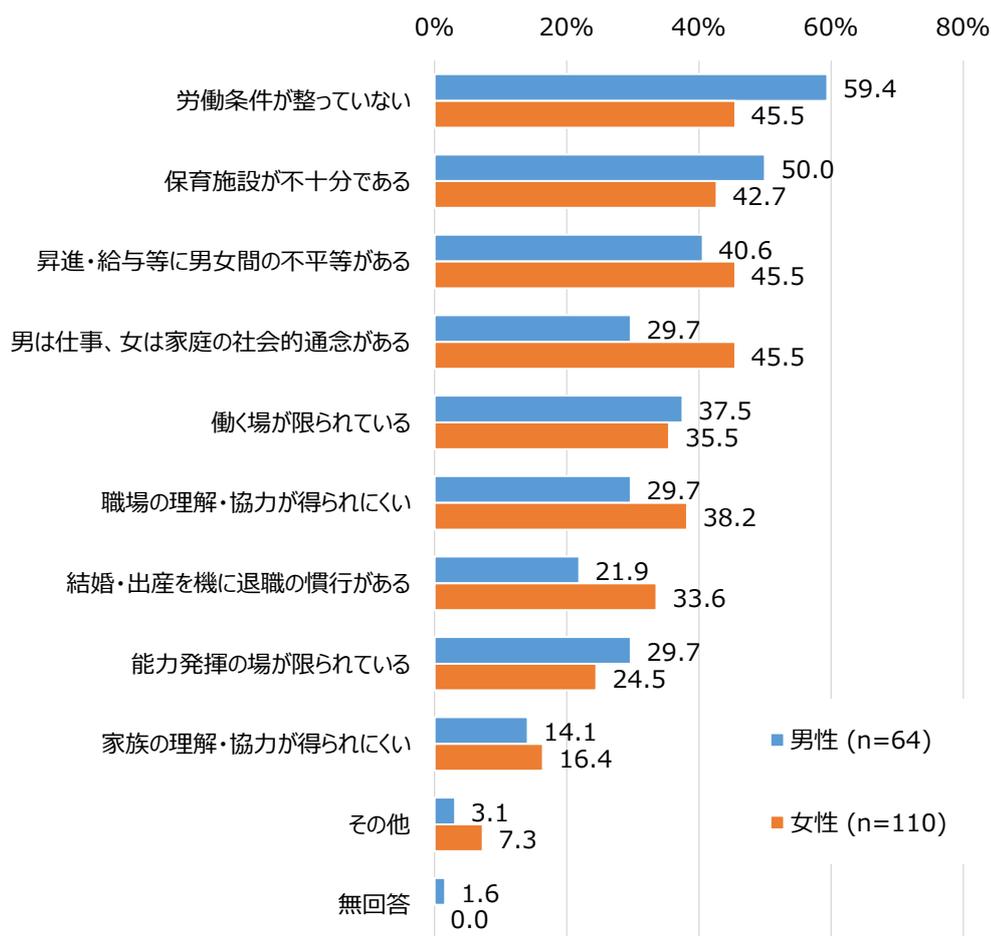


問9 あなたは現在の社会は女性が働きやすい状況にあると思いますか。

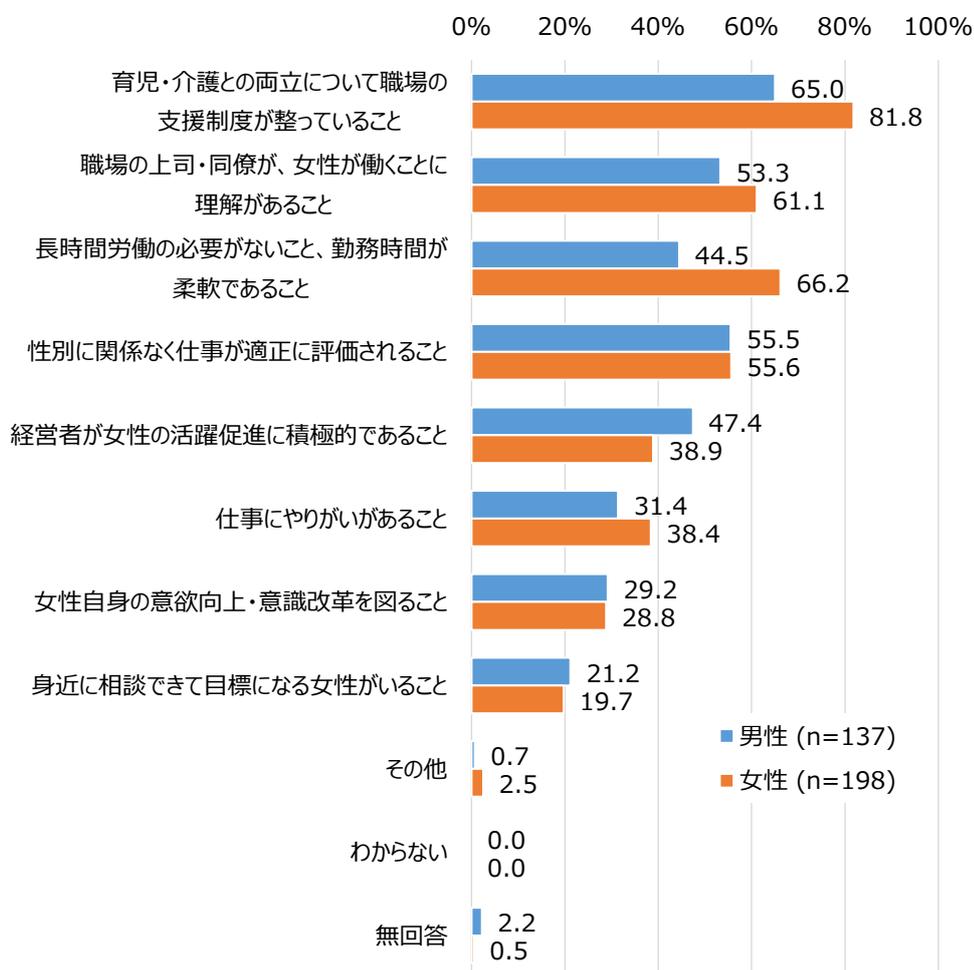


【問9で、「そう思わない」と答えた方のみ】

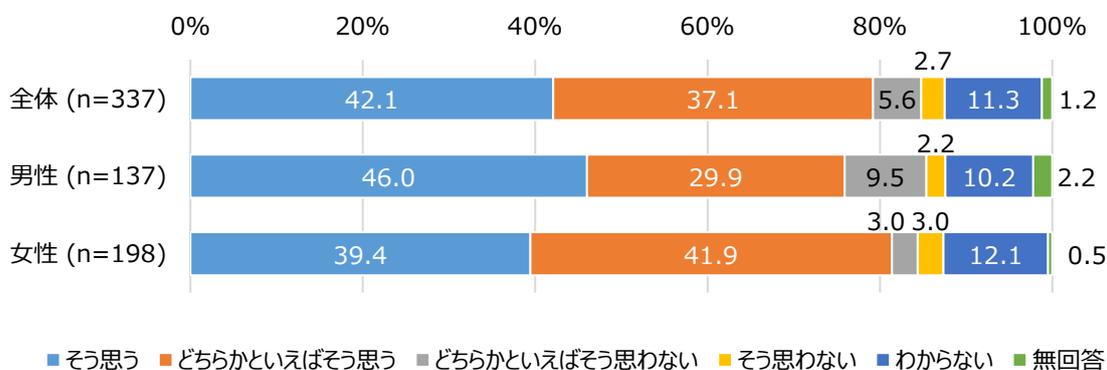
問9-1 その理由は何ですか。(複数回答可)



問10 働く場において女性がさらに活躍するために何が重要だと思いますか。(複数回答可)

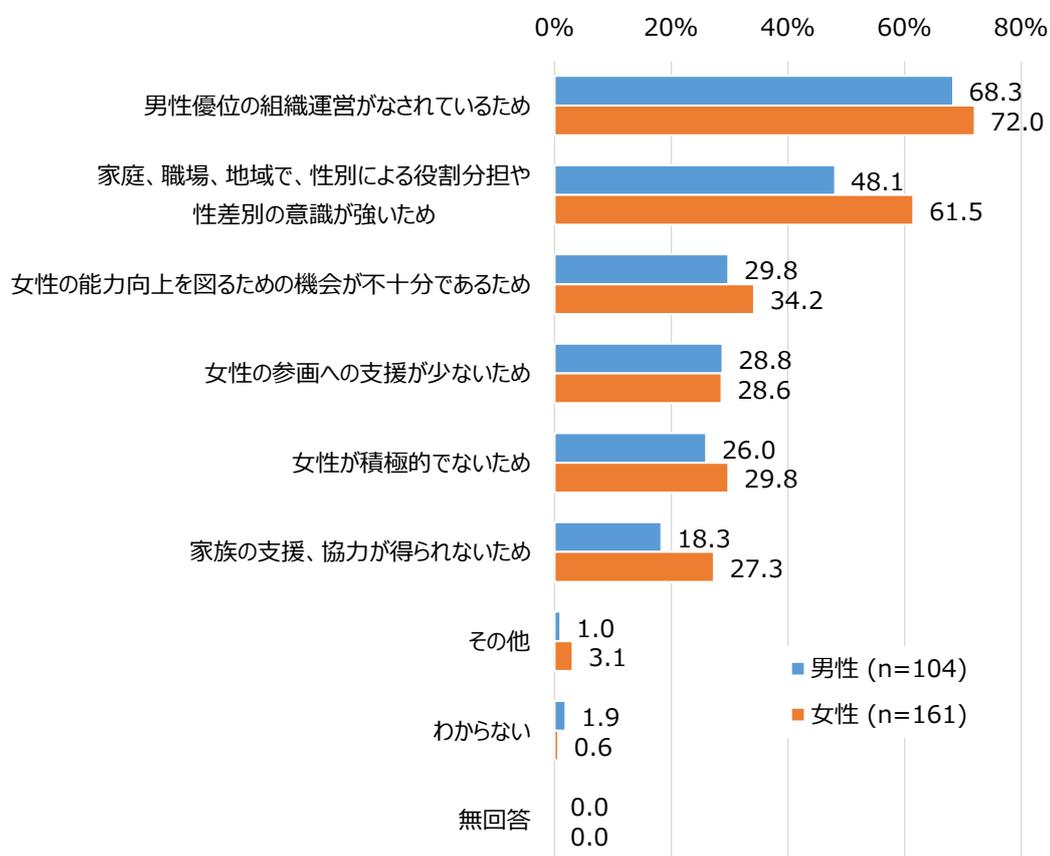


問11 あなたは、女性の意見がもっと反映されるように、自治体の首長(知事や市町村長)や議会議員、企業の管理者、自治会やPTAの会長など、政策の企画立案や方針決定の場に女性がもっと増えるほうが良いと思いますか。



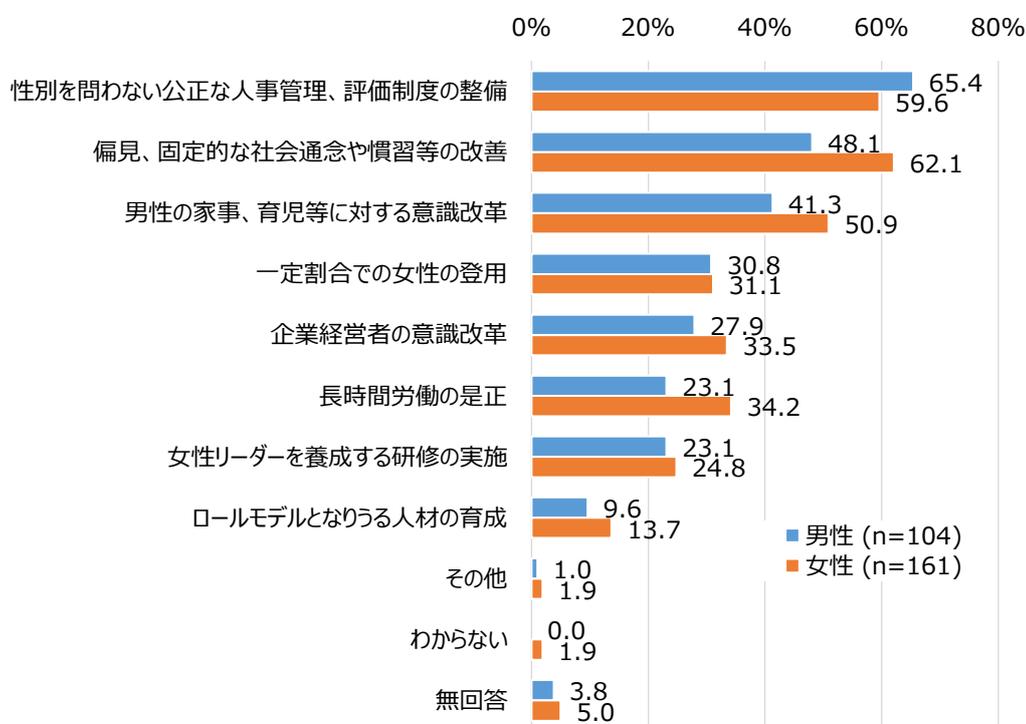
【問11で、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた方のみ】

問11-1 政治や行政、職場などにおいて、企画立案や方針決定の場に女性の参画がまだまだ少ないといわれていますが、あなたはその原因は何だと思えますか。(複数回答可)

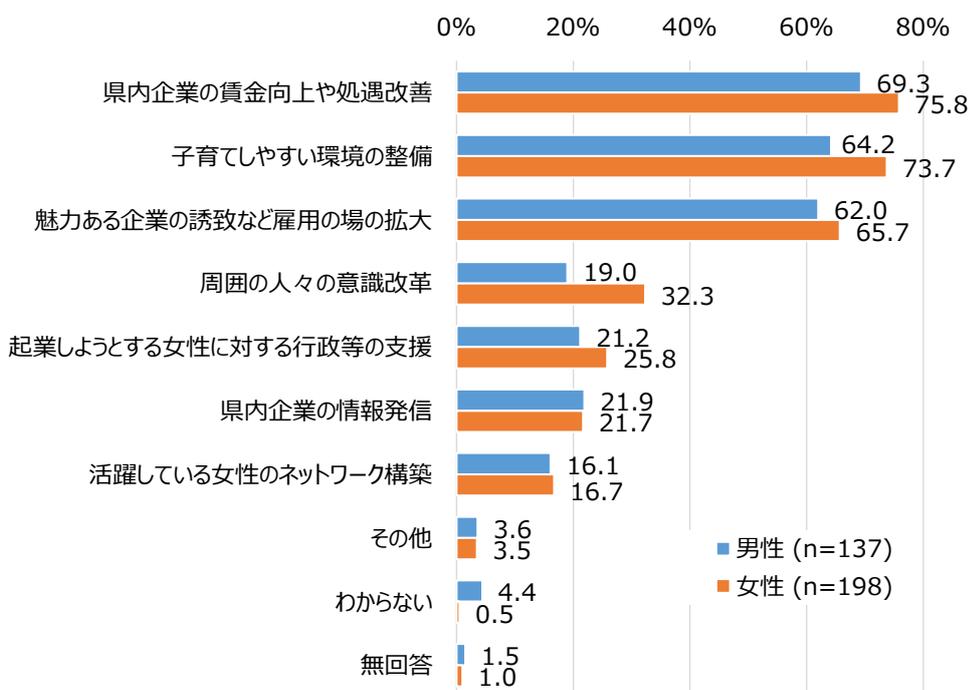


【問11で、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた方のみ】

問11-2 政治や行政、職場において、企画立案や方針決定の場にもっと女性が参画するために何が重要だと思いますか。(複数回答可)



問12 県内の若年女性は多くが都市部に流出しています。県内に女性が定着し、活躍するために必要なことは何だと思いますか。(複数回答可)

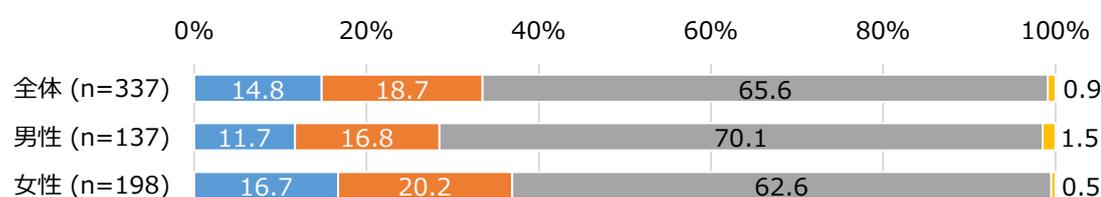


問13 これらの言葉を知っていますか。

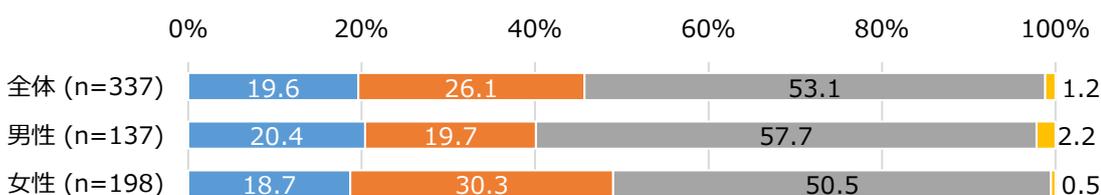
A ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)



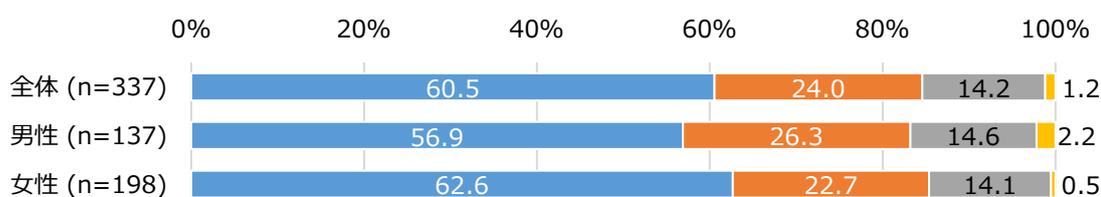
B アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)



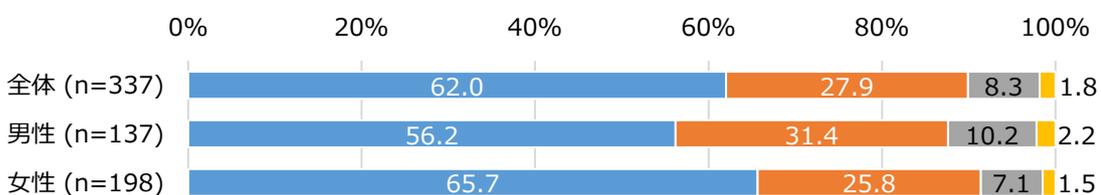
C ポジティブ・アクション(積極的改善措置)



D ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)

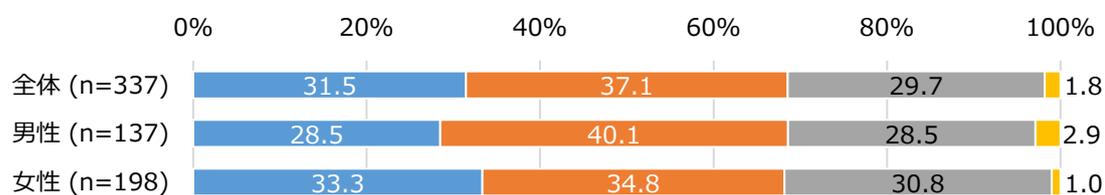


E 男女共同参画社会



■ 知っている ■ 見た・聞いたことがある ■ 知らない ■ 無回答

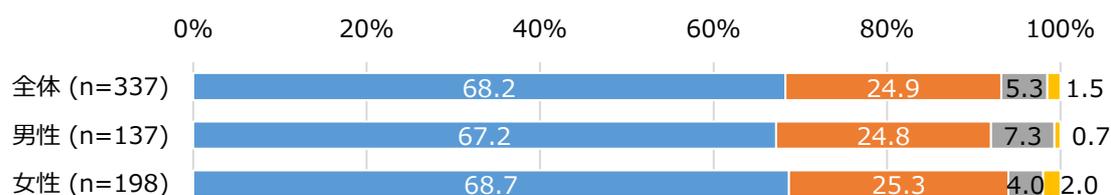
F 男女共同参画社会基本法



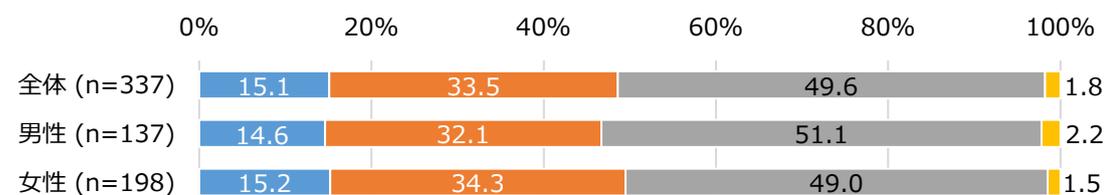
G 女子差別撤廃条約



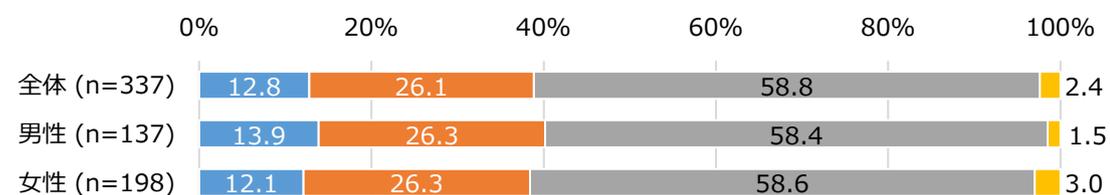
H 男女雇用機会均等法



I 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)



J 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律(候補者男女均等法)

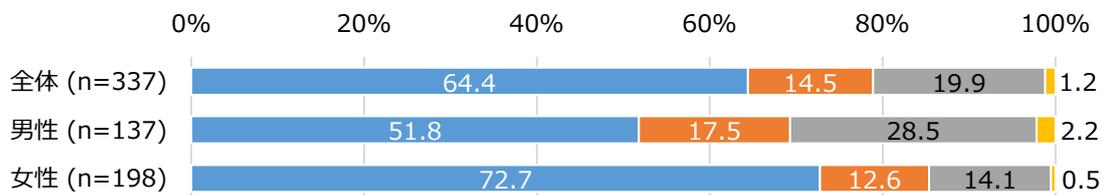


■ 知っている ■ 見たり・聞いたりしたことがある ■ 知らない ■ 無回答

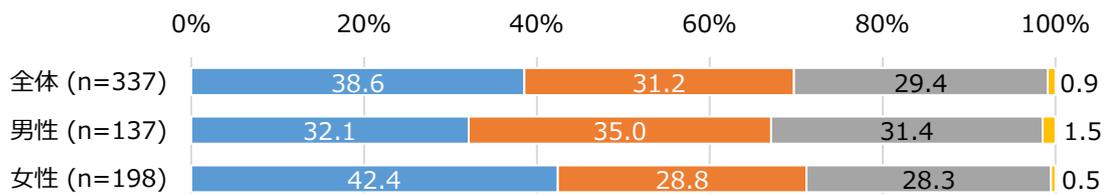
K DV(配偶者等からの暴力)



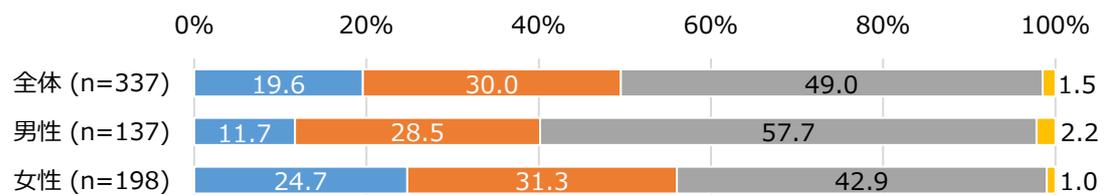
L デートDV(恋人間の暴力)



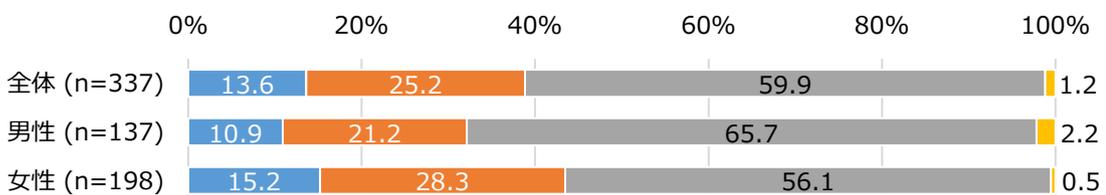
M 山梨県立男女共同参画推進センター(びゅあ総合・びゅあ峡南・びゅあ富士)



N 配偶者暴力相談支援センター



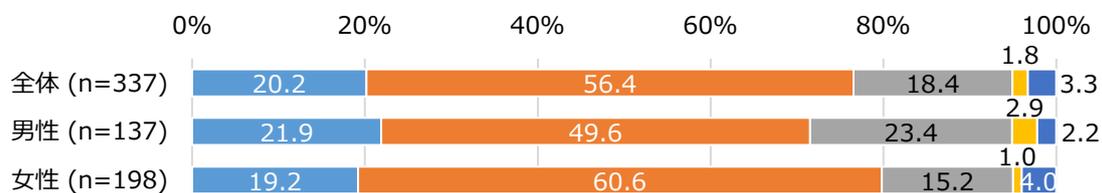
O やまなし性暴力被害者サポートセンター(かいさぽももこ)



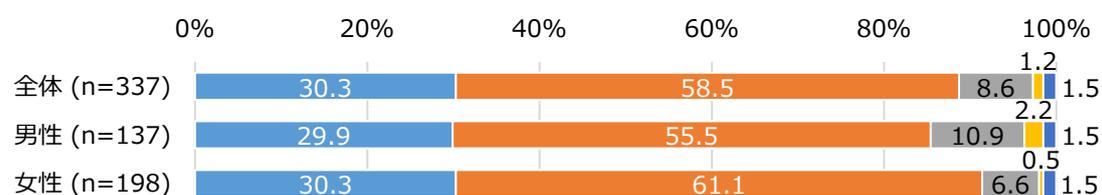
■ 知っている ■ 見たり・聞いたりしたことがある ■ 知らない ■ 無回答

問14 男女共同参画社会を実現するために、山梨県が行う施策の重要度についてあなたはどのように考えですか。

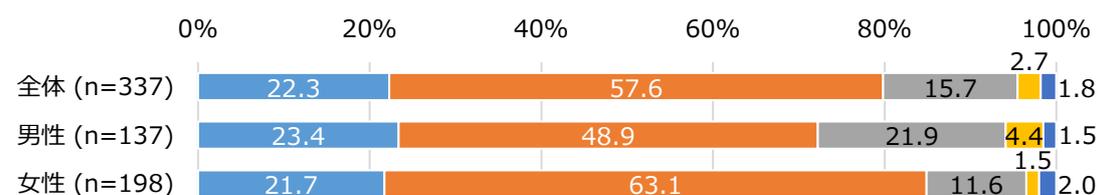
A 男女共同参画について学ぶ講座の充実



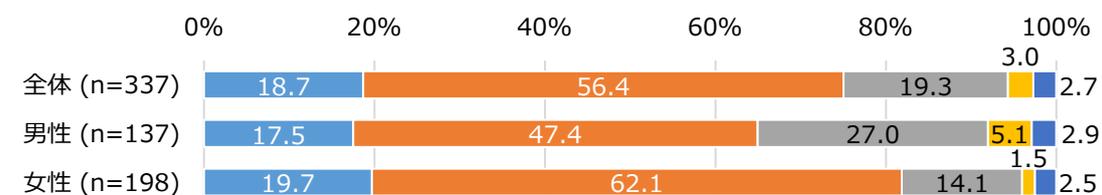
B 女性が再就職するための研修等の充実



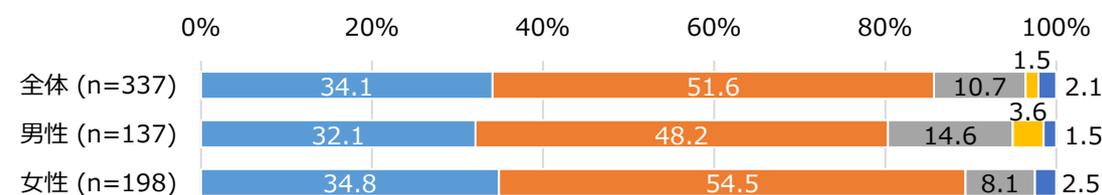
C 女性が社会活動をするための研修等の充実



D 女性の起業やコミュニティビジネス創出研修の充実

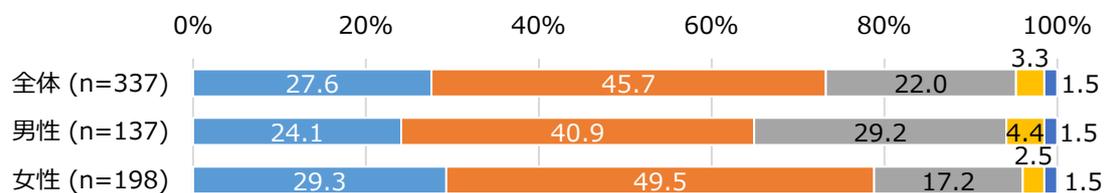


E 女性のための相談窓口の充実

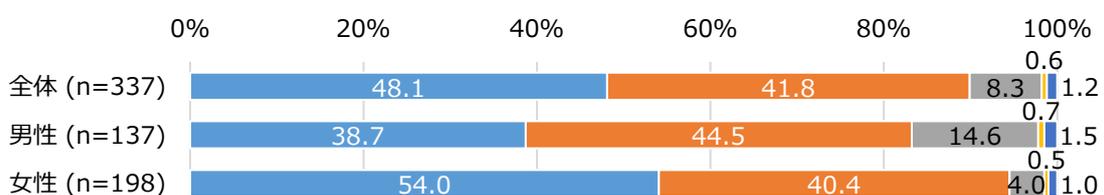


■ 大変重要である ■ 重要である ■ それほど重要ではない ■ 重要ではない ■ 無回答

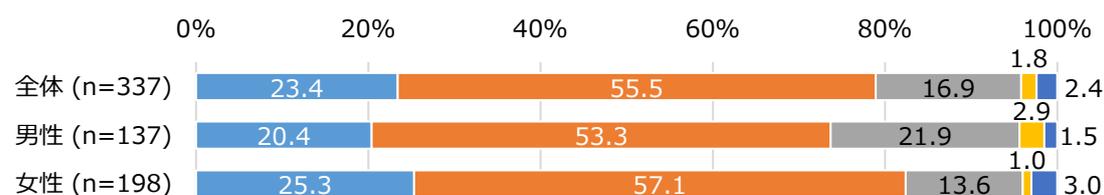
F 男性が家事や地域活動を行うための研修等の充実



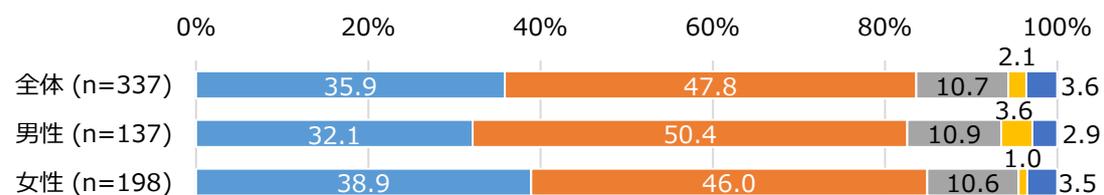
G 男女が互いを人として尊重する学校教育の充実



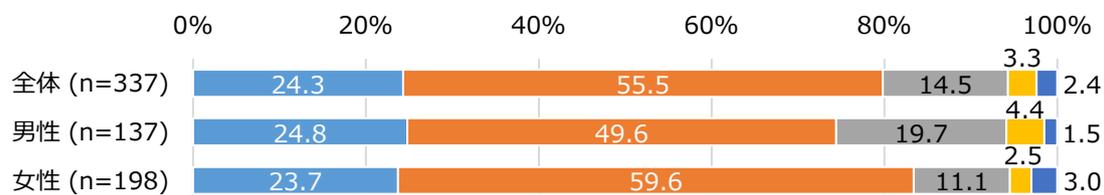
H 国際的な男女共同参画に関する情報の提供



I 企業トップの意識改革のための研修の充実

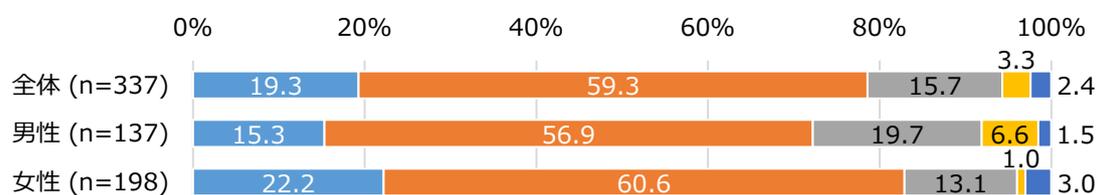


J 行政の各種委員会、審議会への女性の登用



■ 大変重要である ■ 重要である ■ それほど重要ではない ■ 重要ではない ■ 無回答

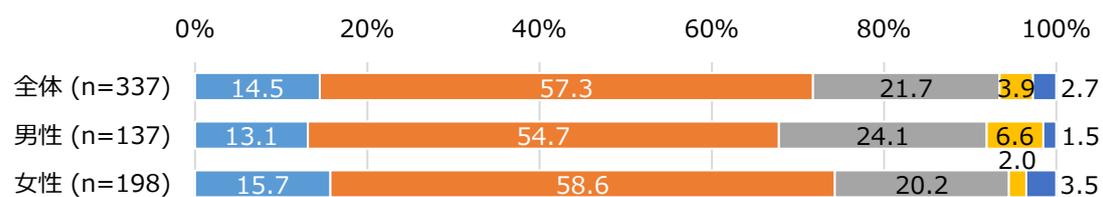
K 女性の活動を支援する団体と行政との協働



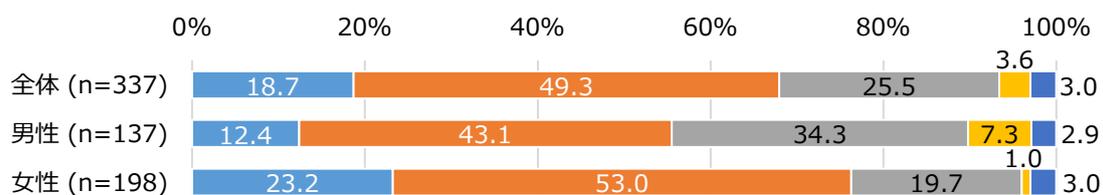
L 地域リーダーとなる女性を育成する研修の充実



M 男女共同参画推進のための拠点施設の充実

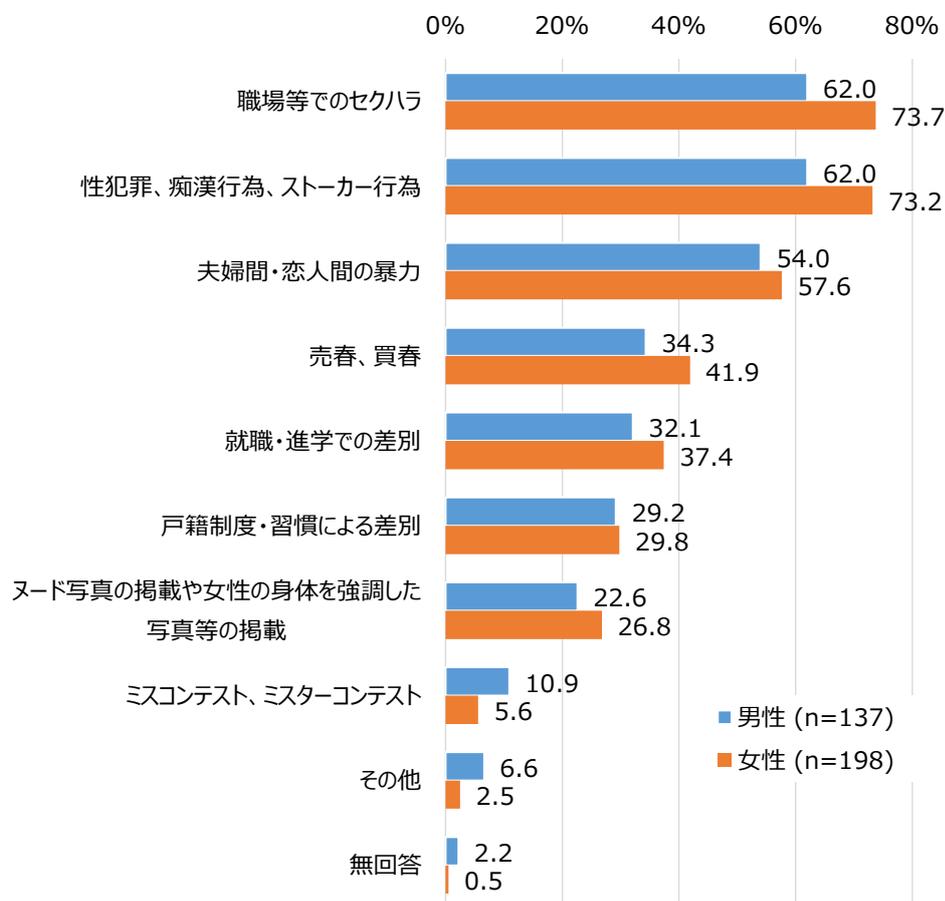


N 自治会長などの地域リーダーの意識改革のための研修の充実



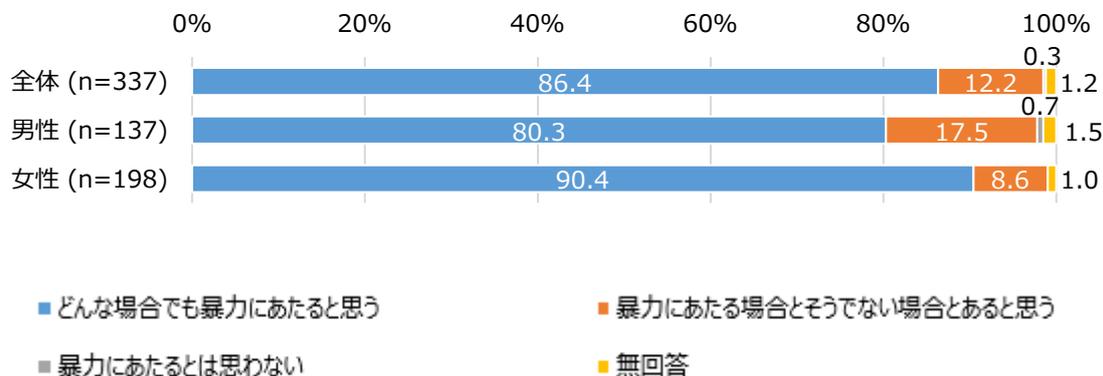
■ 大変重要である
 ■ 重要である
 ■ それほど重要ではない
 ■ 重要ではない
 ■ 無回答

問15 あなたが、男女間において人権が尊重されていないと感じるのはどのようなことですか。
(複数回答可)

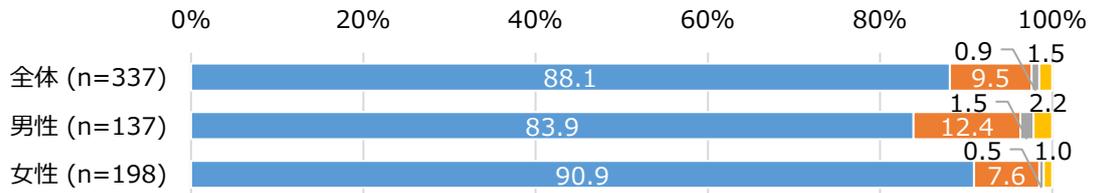


問16 あなたは、配偶者間で次のようなことが行われた場合、それを暴力だと思いますか。

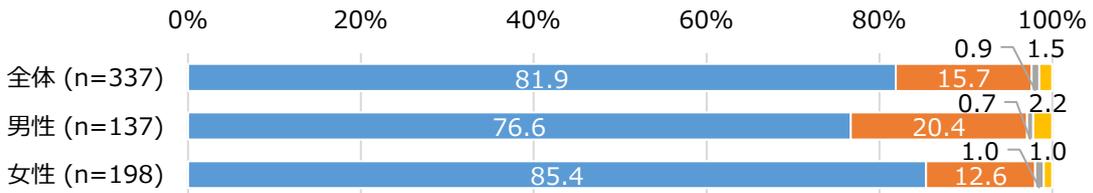
A 骨折、打ち身、切傷などのケガをさせる



B ケガをしない程度になぐる、蹴る、平手で打つ



C なぐるふりをして、脅す



D ドアを蹴ったり、壁に物を投げつけたりして、脅す



E いやがっているのに性的な行為を強要する

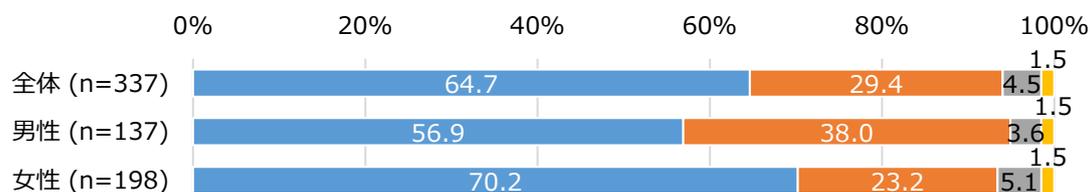


F 避妊に協力しない

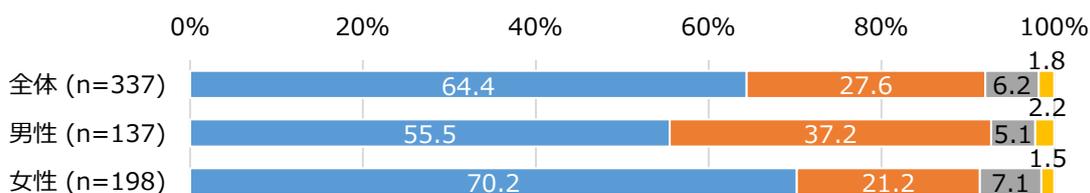


- どんな場合でも暴力にあたると思う
- 暴力にあたる場合とそうでない場合とあると思う
- 暴力にあたるとは思わない
- 無回答

G 何を言っても長期間無視し続ける



H 交友関係や電話・メール・SNS等を細かく監視する



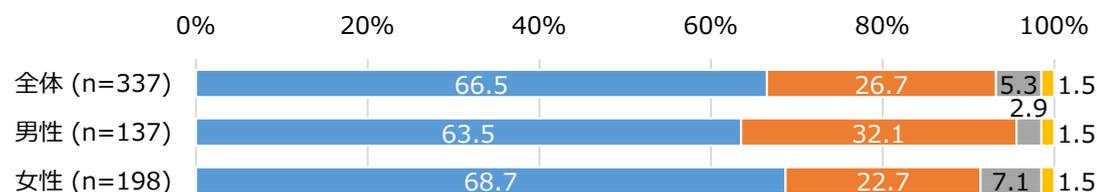
I 大声で怒鳴る、罵る



J 必要な生活費を渡さない



K 交友関係や実家との付き合いを遮断する

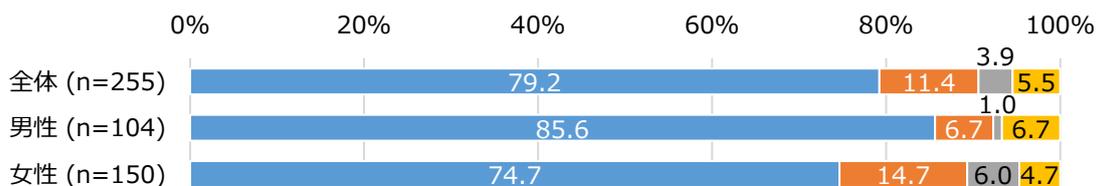


- どんな場合でも暴力にあたると思う
- 暴力にあたる場合とそうでない場合とあると思う
- 暴力にあたるとは思わない
- 無回答

【F5で「既婚(事実婚を含む)」、「離別」、「死別」と答えた方のみ】

問17 あなたはこれまでにあなたの配偶者から次のような行為を受けたことがありますか。また、<これまで>に「1・2度あった」、「何度もあった」と答えた方は、それぞれの項目について、《この1年間》の状況もお答えください。

A <これまで> なぐったり、蹴ったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた



A 【<これまで>に「1・2度あった」、「何度もあった」と答えた方のみ】

《この1年間》なぐったり、蹴ったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた

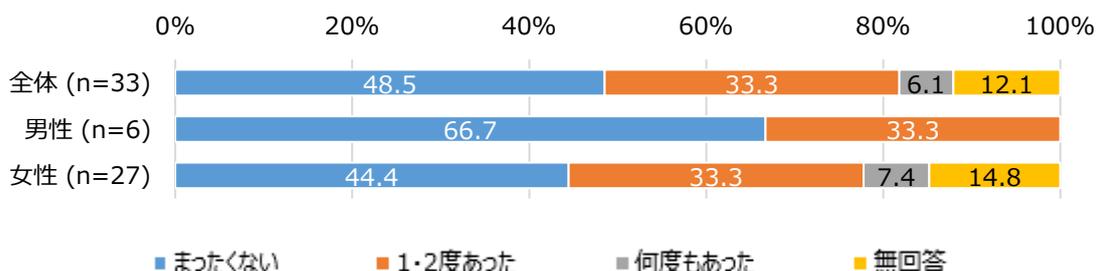


B <これまで> あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような言動や、人格を否定されるようなひどい暴言を受けた



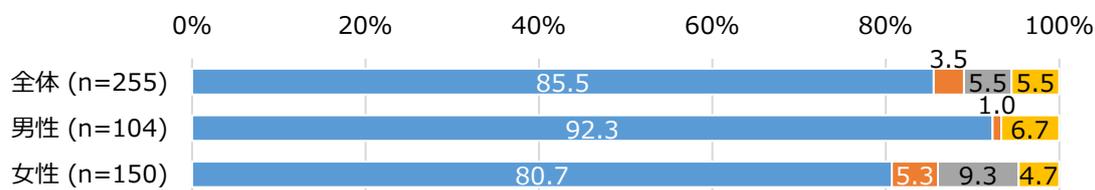
B 【<これまで>に「1・2度あった」、「何度もあった」と答えた方のみ】

《この1年間》あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような言動や、人格を否定されるようなひどい暴言を受けた



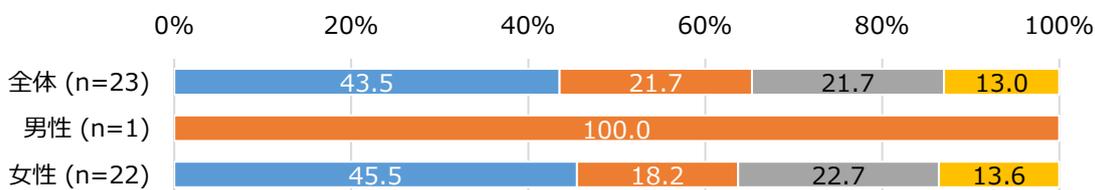
■ まったくない ■ 1・2度あった ■ 何度もあった ■ 無回答

C <これまで> 生活費を渡されなかったり、給料や貯金を勝手に使われたり、外で働くことを妨害されたりした

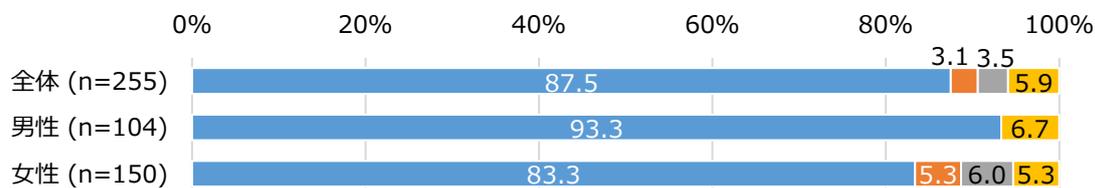


C 【<これまで>に「1・2度あった」、「何度もあった」と答えた方のみ】

《この1年間》 生活費を渡されなかったり、給料や貯金を勝手に使われたり、外で働くことを妨害されたりした

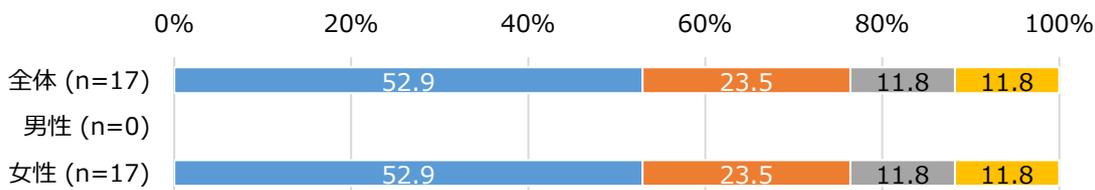


D <これまで> いやがっているのに性的な行為を強要された



D 【<これまで>に「1・2度あった」、「何度もあった」と答えた方のみ】

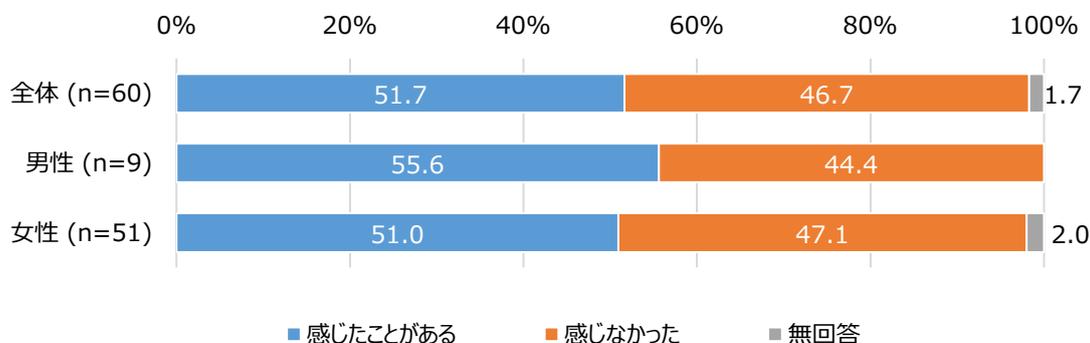
《この1年間》 いやがっているのに性的な行為を強要された



■ まったくない ■ 1・2度あった ■ 何度もあった ■ 無回答

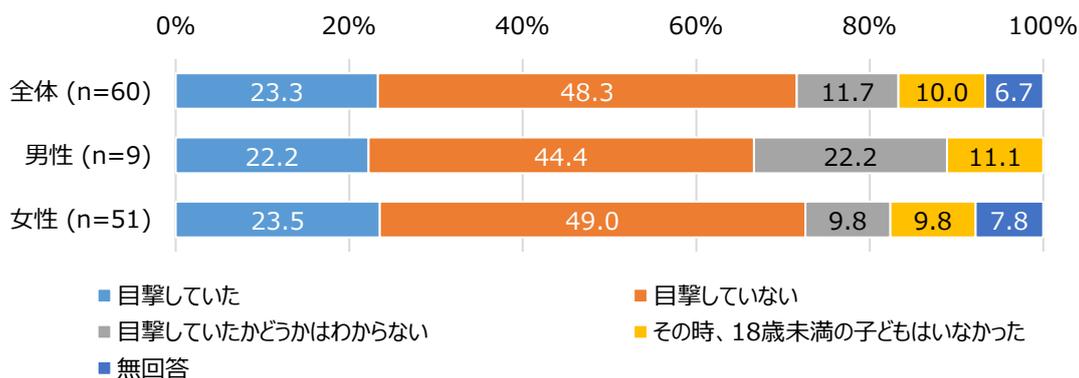
【問17で1つでも「1・2度あった」、「何度もあった」と答えた方のみ】

問17-1 あなたはこれまでに、配偶者からその行為を受けた時に、命の危険を感じたことがありますか。



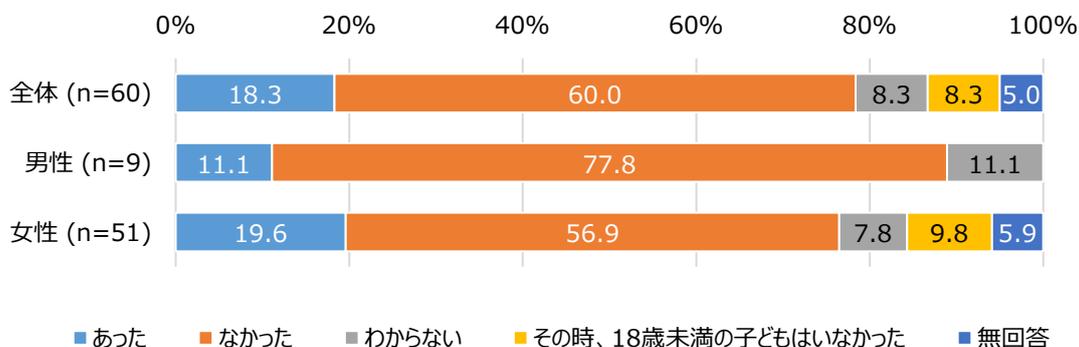
【問17で1つでも「1・2度あった」、「何度もあった」と答えた方のみ】

問17-2 あなたが、配偶者からその行為を受けた時に、あなたのお子さん(18歳未満)はそれを目撃していましたか。



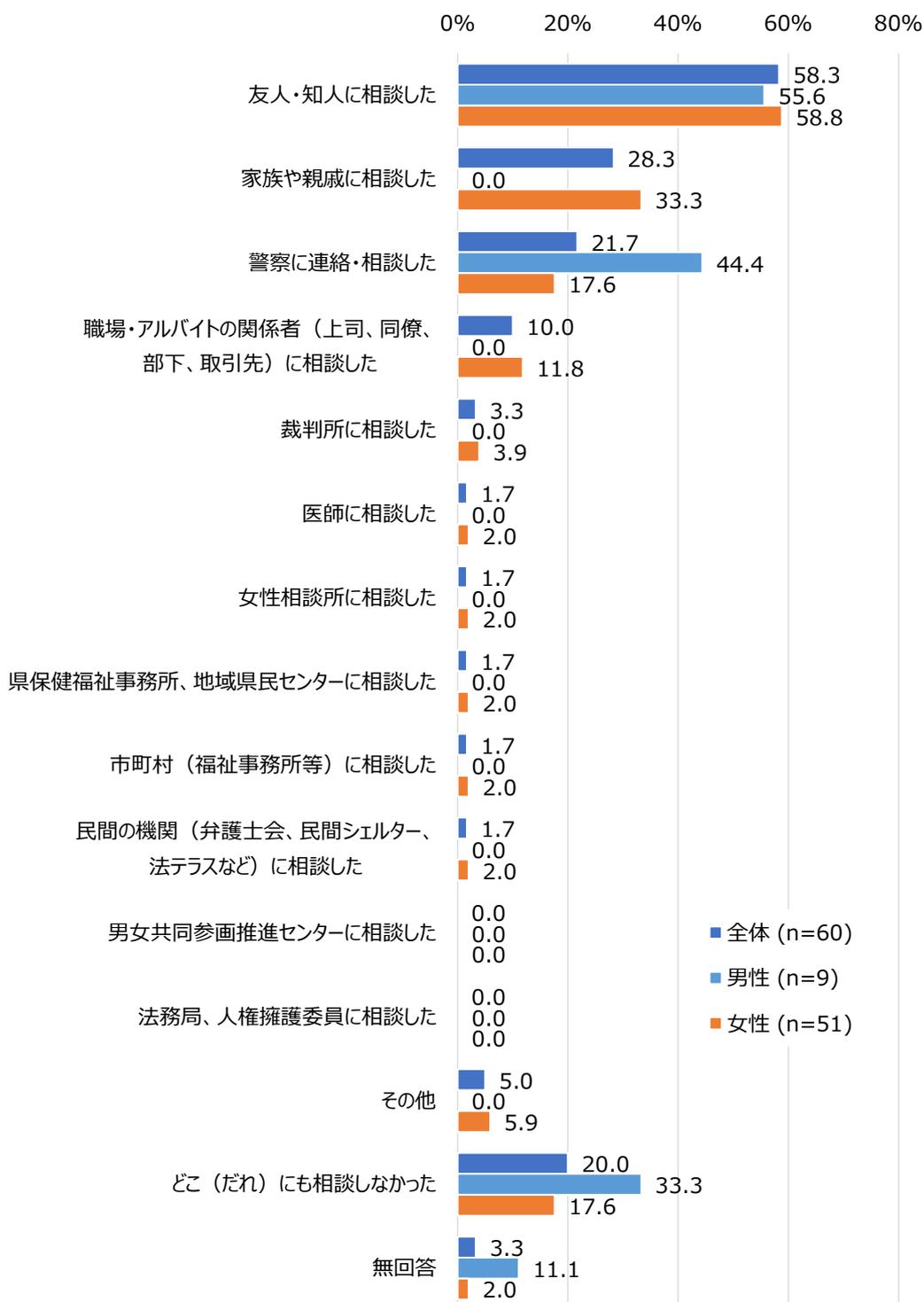
【問17で1つでも「1・2度あった」、「何度もあった」と答えた方のみ】

問17-3 その相手は、あなたのお子さん(18歳未満)に対して、同じような行為をしたことがありますか。



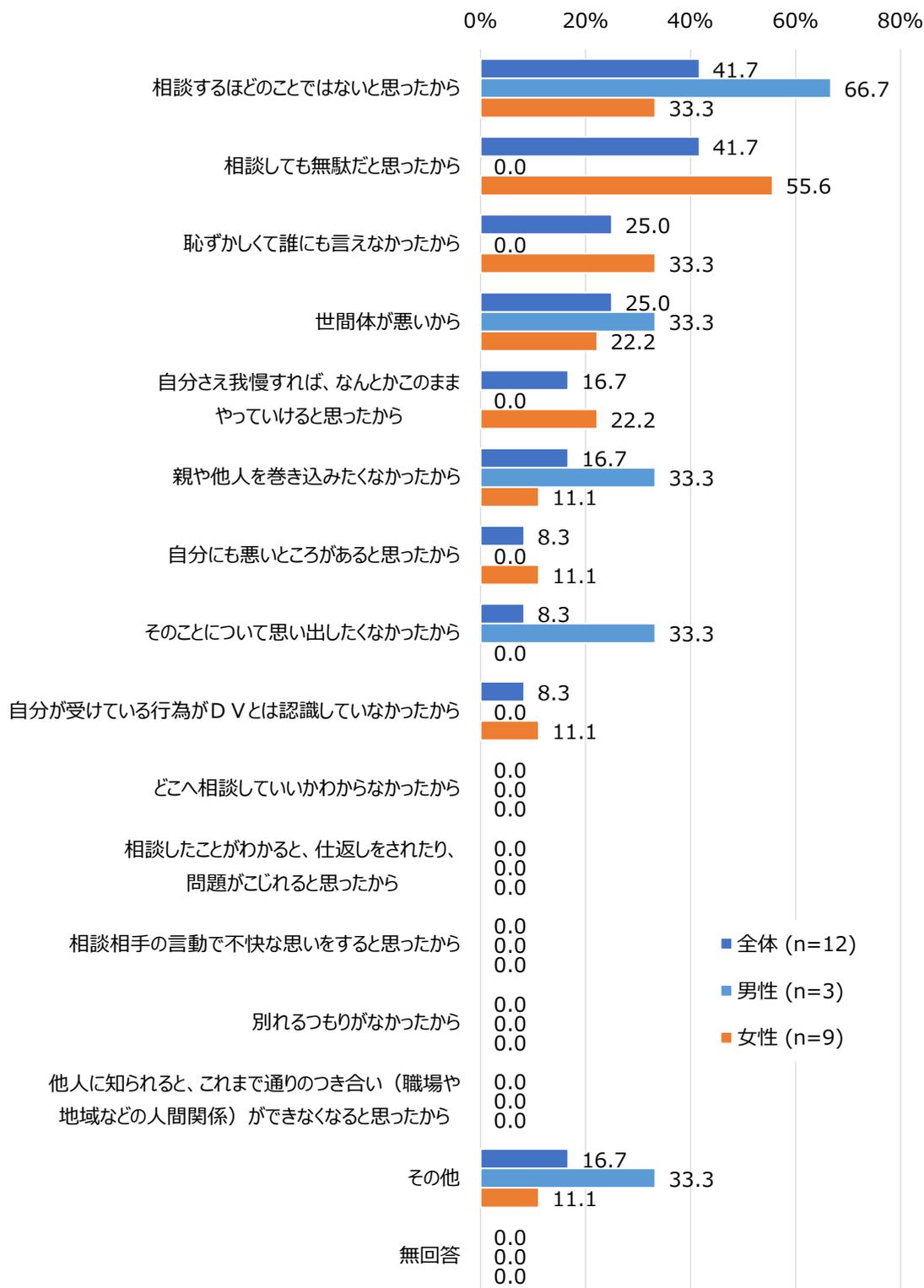
【問17で1つでも「1・2度あった」、「何度もあった」と答えた方のみ】

問17-4 あなたはこれまでに、あなたの配偶者から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(複数回答可)

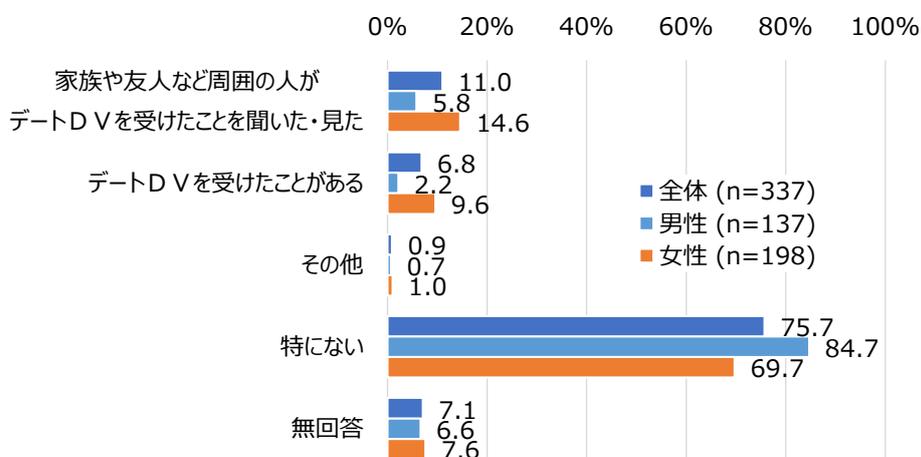


【問17-4で「どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えた方のみ】

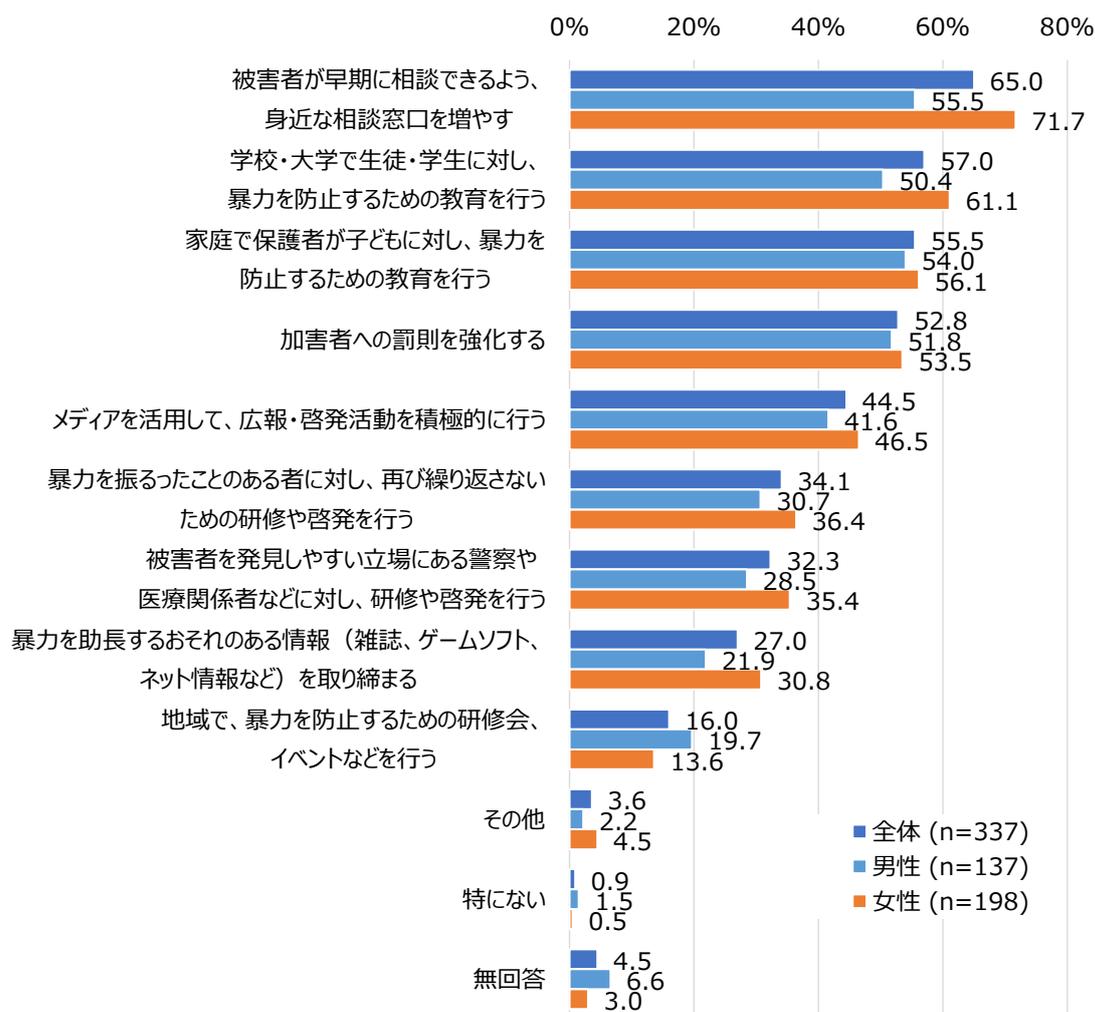
問17-5 どこ(だれ)にも相談しなかった理由は何ですか。(複数回答可)



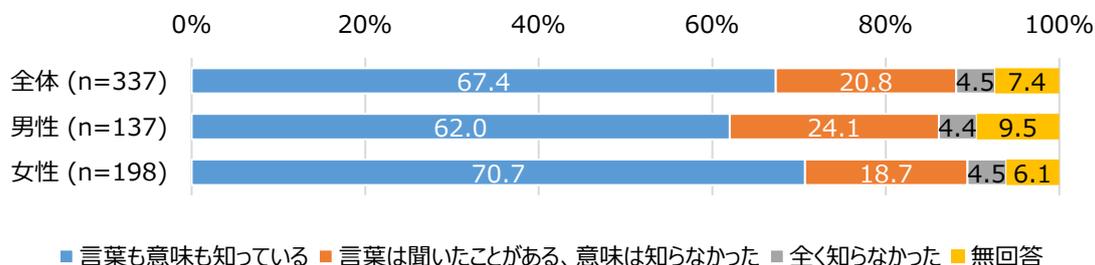
問18 あなたやあなたの周囲の人が実際にデートDVの被害を受けたり、被害を受けていることを聞いたり見たりしたことがありますか。(複数回答可)



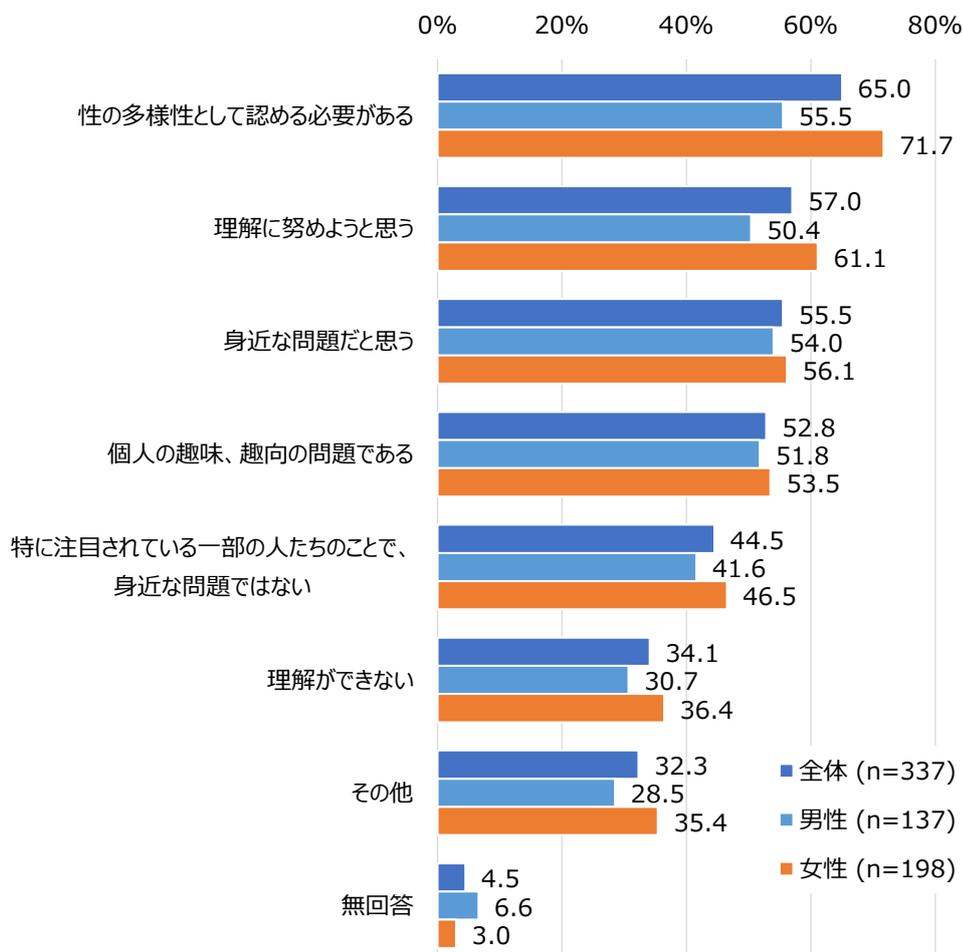
問19 配偶者や恋人からの暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。(複数回答可)



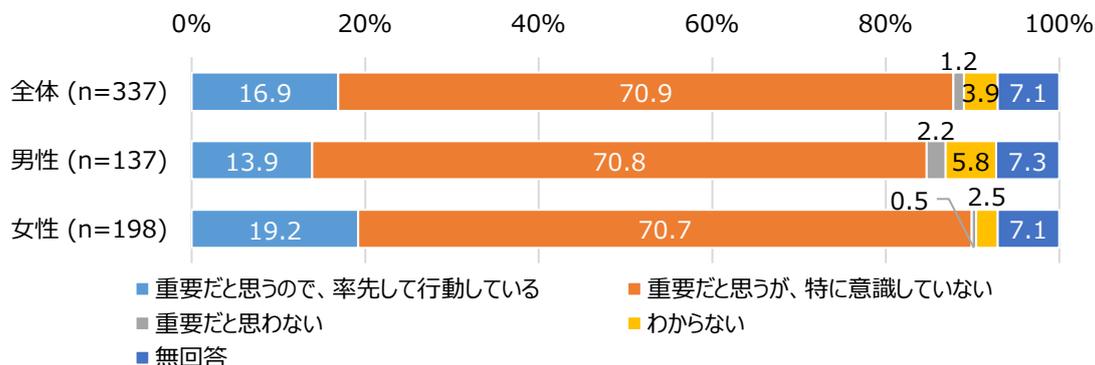
問20 「LGBT」または「性的少数者(性的マイノリティ)」という言葉について聞いたことがありますか。また、意味を知っていましたか。



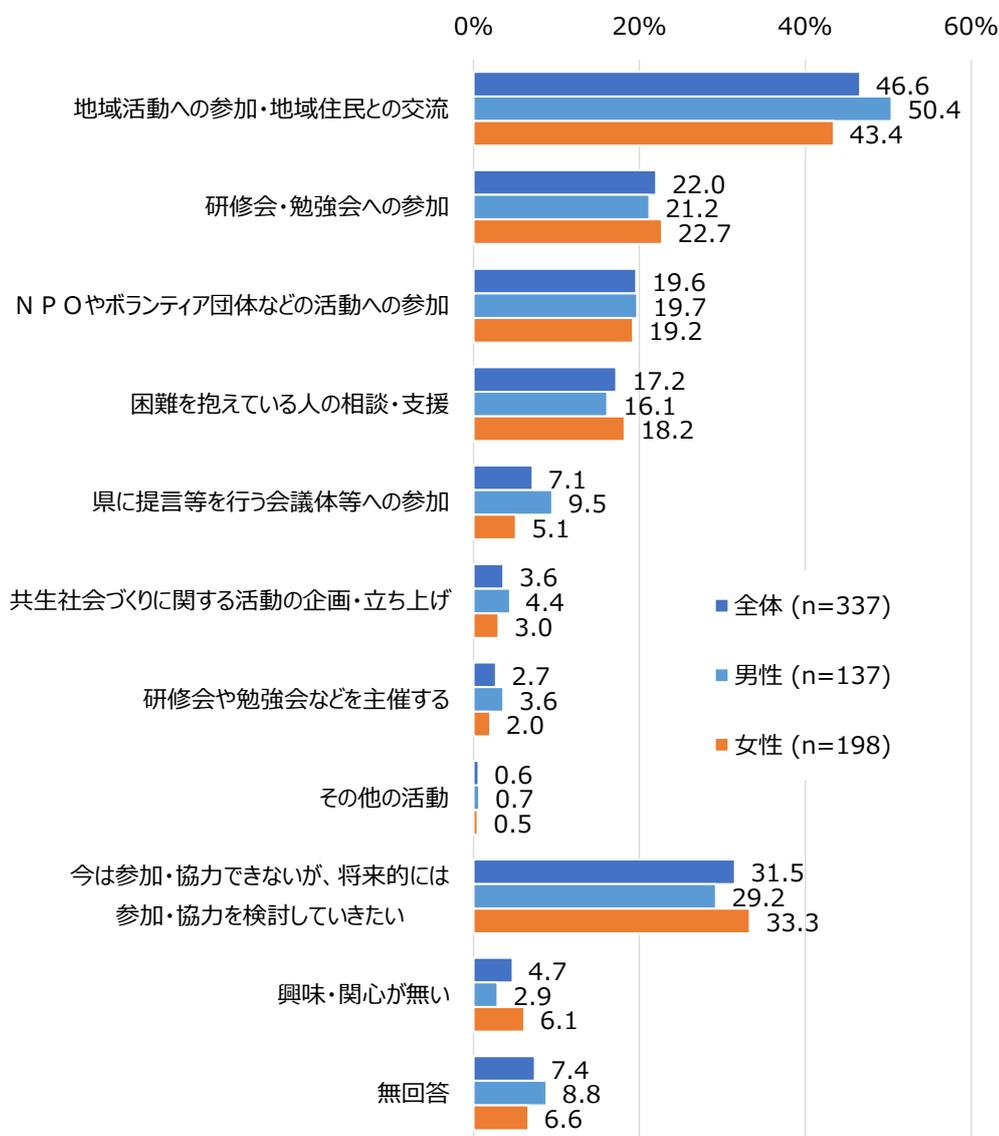
問21 LGBT についてどのような考えをお持ちですか。(3つまで回答可)



問22 あなたは、「多様性の理解」についてどのように考えていますか。



問23 「共生社会づくり」のために、あなたが取り組めると思うものについて、次の中から選んでください。(複数回答可)



問24 誰もが個性と能力を発揮して生き生きと暮らしていく社会の実現のために、あなたが日頃考えていらっしゃる事があれば、自由にお書きください。

- 多様性については理解しますが、少数の意見ばかり尊重して多数ががまんするというのはちがうと思います。(女性・20 歳未満)
- まずは他者を受け入れる。様々な状態・状況を知るためにも、いろいろな媒体を利用して知識をインプットするように努めています。(男性・20 歳代)
- 個人の自由の尊重が出来れば他人の事は気にならない。誹謗中傷をしない。目標をもって生きることに関心し、未だ見ぬ未来の恐れを抱かないようにする。(男性・20 歳代)
- 人が隠さずに堂々と主張できるような社会にこの先なっていければいいと思う(男性・20 歳代)
- 男性は仕事、女性は家庭、という考えがあるが、その逆があっても良いと思う。性別に関わらず、1 人ひとりに合う生活が営めるとより良い社会になると思う。(男性・20 歳代)
- 必要以上に声の大きい人々の話を行政が受けるべきではないと思う。えてしてそのような場合、他者の権利を侵害することを平然と、深く考えずに自身の視点からしか主張を通して考えるからである。また女性の向上と掲げるより、男女平等、公正といった点を掲げていった方が、共同参画へとつながるのではないかと思う。(トップの考えを変えやすい) (男性・20 歳代)
- 皆が平等を訴えたとしても不可能だと思っています。心に余裕を持って生きていけるような世の中になってほしいと願うばかりです。(女性・20 歳代)
- 私は今でも自分の“強み”や“能力”を見つけられていません。学生時代や就活時に、自分を知るための講習会や、気軽に相談できる場があり、自分をもっと知ることができれば、仕事の選択肢が広がり、やりたいことが見つけれられたのではないかと考えています。(女性・20 歳代)
- 自分の個性や能力を発見するために、性別、年齢を超えて参加ができる活動があれば参加したい。地域の伝統芸能でも良いし、農業や、地域美化でも、地域に関係なくスポーツや芸術でも良いと思う。(女性・20 歳代)
- 女性の社会活動に関して、私は将来結婚するつもりが全く無い為これから仕事をしていく事について考える機会が多いのですがまず今の社会には「結婚することが当たり前/結婚したら仕事も辞める」という概念を持つ人が山梨県に限らず田舎には多すぎます。女性でも仕事を続けていく概念が伝わりません。周りの人間が良くならなければいくらサポートを充実させようと人口流出に歯止めはかけられないと思います。まずは様々な年齢層、特に昭和世代に古い「女性だから」という概念を無くしていく事に重点を置いてほしいです。TV や新聞などで若い女性の特集番組を組むなどはどうでしょうか。(女性・20 歳代)
- 生き生きと生活するためには、そもそも男女関係なく、給料があがらないと無理。(女性・20 歳代)
- 男性だから、女性だからと決めつけずに、それぞれの家庭の決めたことを受け入れられる社会になるとよいと思う。子供の迎えに行くお父さんに「お母さんは行かないの？」ときとかそういうことをなくすることが必要。社会や自治体においてもお茶汲みは女性の仕事だとかそういう意識がまだ根強くあると感じる。上の世代になる程そういった考えが強いので嫌。政治においては、男女関係なく失言、不祥事のない

優秀な人であればよいと思う。女性という点にとらわれすぎてふさわしくない人が選ばれるのもよくない。

(女性・20 歳代)

- 学生の頃から、社会人になってから必要な能力であったり、心構えであったりを教育した方が良いと思う。具体的には、社会で活躍している各分野の著名な方の講演を聞く機会を増やしたりする事が大切だと思う。そのようにすれば、県外への人材の流出も多少減らせるのではないかと思う。(男性・30 歳代)
- 時間はかかりますが、これからの社会を担うこどもたちに対して、将来のための我慢を強いるのではなく、互いの権利や自由を尊重した教育を施していくことが必要です。また、仕事、家庭、地域、さまざまな場面において、時代にあった変化に対する柔軟性が求められています。特に、学校は社会の縮図といわれていますが、大人のギスギスした社会を子どもに押し付けることなく、新たな時代の最先端を教育に取り入れて、希望を託して欲しいと思います。(男性・30 歳代)
- 趣味・好きなことができる人生だと良い(男性・30 歳代)
- みんな個性とその人の能力が違うので、その人に合った能力個性を生かせるように、家族や地域で応援活動をお願いします。(女性・30 歳代)
- よく主人と話していると、それはパワハラになる。相手の受け取り方で、発言出来ずにいることが多いです。とても生きづらい社会だと思います。女性のこと、大切だと思います。しかし、女性が働くために、女性が働きやすくするためになど、女性優先の社会になりつつあります。男性も有意義に働けるようになれば、女性も働きやすくなるのではないのでしょうか？男性は有給をとれない方がほとんどです。休みを取りづらく、男性の育休も理解がまだまだありません。女性が働きやすくなるためには、まずは男性を働きやすくすることも重要かと思います。その中で女性が働いていくのですから…と思います。(女性・30 歳代)
- 学業や仕事のみならず、好きな物を見つけて取り組めるような生活をみんなして欲しい現代は忙し過ぎるので時間にゆとりがある社会になって欲しい(女性・30 歳代)
- 子どもの学校や園にも、ハンディを持った子がいます。その子に対しての対応を周りの子と差別しないこと、普通に接することを意識しています。それが後の子ども達の意識につながることを信じています。(女性・30 歳代)
- 私は今の仕事をするために一度東京に出て、職を身に着け山梨に帰ってきましたが、普段は家の中に籠ってできる仕事です。そこで思ったのが、山梨では将来、農家や介護士、医者になる選択肢が多いと思うのですが、(ご高齢の方が多いため)ゲーム会社なども作られると人の選べる仕事の選択肢が増えていいなと思っております。(もともと私はゲーム会社に勤めたく山梨を出た人間ですので、東京にある会社を受け入れて、社員は山梨の人に…なんてのも大事かななんて思っております。今ある会社も大事にできたら嬉しいですし、農家さんの後を継ぐ方は県外からでも引っ張ってこれたらとも思っています。)ただし、高いビルのない山梨が好きなのでビルの建設だけはしないでいただきたいですが…子供たちの将来の仕事の選択肢が増えるといいかな、なんて思っております。(女性・30 歳代)
- 自治体の行事や学校の行事などに進んで参加して地域の人と話す機会を作りできるだけ外にできるようにしています。(女性・30 歳代)

- 社会や会社では、まだ男性優位の環境が根強いです。男性優位の環境が変わらないのは、男性が「女性だから」と言う偏見を持って主張している人が多いからだと思う。なので、女性だから、LGBTだから、と偏見を持つ事なく、相手を尊重する気持ちをそれぞれが持てば、誰もが個性と能力を發揮して生き生きと暮らしていく社会が近づくのではないかと思います。（女性・30 歳代）
- 誰しも、向き不向き、出来る事できない事があるので、否定ばかりしないで、お互いの個性を認め合う事が大事だと思います。（女性・30 歳代）
- 誰もが生き生きと暮らしていく社会が本当に実現できたら素晴らしいですが、実際はとても難しい事だと思います。最近は LGBT にスポットが当たりがちですが、社会には他にも困ってる人・苦しい人たちがいるはず。一部の人が優遇される制度では何も解決しません。もっと先のことまで見て、全体のバランスを考える事が重要だと思います。（女性・30 歳代）
- 地域活動が希薄なので、もっと活発になれば良いと思う（女性・30 歳代）
- 特になが、LGBT の活動に積極的な友達の影響で、自分も SNS や本などで LGBT の取り組みを応援している（女性・30 歳代）
- 年配の世代のような、すでに固まってしまった価値観を無理に変えることは難しいことだと思います。なので、子どもたちや若い世代など、これからの社会を気づいていく人たちの意識や価値観を導いていく方が「共生社会」の一番の近道なのではないかと思います。（女性・30 歳代）
- 北杜市に引っ越して 5 年くらいになります。職場は少人数で出会いがありません。会社の上司はなんとなく女性の活躍に理解がありますが、地域での趣味の集まりなどで地元の人のお話を聞くと、昔ながらの男女の価値観があることを実感しています。（回覧板は女が回すなど）価値観はさておき、会社での男女間の賃金格差があるとすれば、1 番解消してほしい問題です。今度結婚できるかどうか分かりませんが、もし子供がいたら仕事を続けていけるかとても不安です。（女性・30 歳代）
- 問 13 からの総括的な質問かと思いますが、その前の部分も絡むので少し含ませてください。このアンケートの問 5「男性として望ましい」「女性として望ましい」でも気になり「わからない」以外選べなかったのですが、もうこの視点が世にある時点で個性と能力を發揮できる気がしないです。※アンケート内容が大きく異なるものが 2 つまとまっているため、混乱してしまっているのもあるかもしれません。男女の働き方に関しては、平等を目指していたら何世紀経っても国の言う「女性の活躍」はごく一部の人の話で終わりそうだなと感じています。体の作りが違うのだから、特に子を生む（生むことを希望している）方々にとって平等は差別と変わらないと思います。ここは公平を目指してほしいです。LGBT（SOGI）については、ネガティブ派の方々に話を聞いたり記事を読んだりしましたが、本気で全く理解できません。本人たち（一部の過激な思想の人たちを除く）は別に優遇してくれと言っているわけでもないし、他人にもそうであれと強要されているわけでもないし、ただ「あなたはそうなんだね」で終わる話で。（当事者、非当事者が同等に権利を有するという前提で）なんだか自民党がバチバチに反対し出してからややこしくなった気がします。昔そんなでもなかったですよ。党内に当事者もいますし。当事者は不運にも巻き込まれた感が否めないの、そこは当事者に心から同情します。個々のお題目でアンケートを分けていただけるとありがたいです。回答していて矛盾を感じる内容がセットだったので非常に回答しづらく、揺らぎまわりました。（女性・30 歳代）

- こういうアンケートは重要だと思いますが、設問が多すぎてそもそも回答する事がとても面倒に感じます。制作されている方々には失礼ですが、アンケートの作り方が下手すぎてそもそも意見収集という大義名分が果たされないのでは意味がないのではないのでしょうか。(家事の時間等を入力してため息が出ました。。)アンケートはもっとテンポ良く答えられる様な工夫が必要だと感じます。(男性・40 歳代)
- ジェンダー、個性、出自などにより機会が奪われることがあってはならないと思う。但し、その目的の為にそれほど意識がない人、努力が足りない人、能力が足りない人を恣意的に特定の地位につけたり、祭り上げたりすることによって別の人の機会を奪うことも同様にあってはならないと思う。社会全体で平等な機会のあり方を真剣に考えて、その機会を創出することに全力をあげて欲しい。その機会を活かすのは個々人の意識と努力であること、その努力を阻害したりすることが無く、評価は平等な基準をもって行われることが社会の通念となっていてもらいたい。(男性・40 歳代)
- 一人一人の理解や協力が必要だと思うが、必要以上の支援制度や活動は新たな差別を生むケースや利権が生まれる場合もあるので、メリット、デメリットを検討する必要があると思う。(男性・40 歳代)
- 若い世代はすでに多様性の中で生きる意識があると感じます。高齢の世代などがまだ柔軟性が足りない。そこも重要かと思えます。(男性・40 歳代)
- 男女平等に関しては、やはり子供の幼少期の教育が重要だと思います。僕の世代では、やはり男性優位の思考で育ってきたでしょうか。家庭内で夫婦が平等にするのはもちろん、学校でも男女両方が社会にとって必要だと教えることが重要だと思います。男女平等を実現するには学校でしっかり教育して、長い年月をかけて醸成していく必要があると思います。(男性・40 歳代)
- 「みんな自分とは違うけどそれが良い」という事を前提に個々の意見を尊重することのできる社会が望ましいと思います。(女性・40 歳代)
- それぞれ考え方が違うので難しいと思いますが、尊重し合い理解し合えると生きやすい社会になると思います。(女性・40 歳代)
- 格差社会をなくすために、大学までの無償化を実現すべき。単位は厳しくして、留年は授業料を支払うシステムとし、やる気のある若者がきちんと学べる機会を作ることが重要である。(女性・40 歳代)
- 学校では、知識の習得などの勉強はするが、生きていく上で大切なこと、子育てでたいせつなこと、自分を大切にすることなど、教えることがあまりないように思う。人格の内面をもっと育てるような教育が必要。(女性・40 歳代)
- 今は自分のことではいっぱいなので、他人や社会の事までは、自分のことのように考えられないが、困難に思ってる人の助けにはなりたいし、LGBTQ にも理解はある。自分に何ができるのかが分からないので、動きようがないが、県の取り組みだけでも分かるなら有難いと思った。(女性・40 歳代)
- 子育て中なので我が子の事で言えば、幅広い視野を持って世の中を見渡していけるよう、子どものうちから様々な体験をさせるようにしている。また、多くの人と触れ合う機会も作り、自分とは違う考えの人たちも受け入れられるような教育をしている。(女性・40 歳代)
- 時間に、お金の、余裕が無いと、弱者に向かう悪いパワーから問題が起きるイメージがある。なので、貧富の差を減らす事が近道な気がします。家庭水準に比例して学力や世帯収入も比例している様

に思える。(女性・40 歳代)

- 人それぞれで、その人なりの考えや行動があるものだと思う。否定することの無いようにつとめてます。(女性・40 歳代)
- 性別や年齢に関わらず、誰もが尊重される社会になって欲しい。一人一人が、それぞれ自分らしく生きていける社会になって欲しい。「子どもの権利条約」についても広く社会に知って欲しい。大人にも子ども自身にも知ってほしい。(女性・40 歳代)
- 誰もが自分らしく生きていけたいと思いますが、誰かに迷惑をかけることは別だと思っています。マイノリティを「過度」に尊重することで、非マイノリティが生きづらくなってしまふ。最近の LGBT 関連のニュースを見てるとそう思います。(女性・40 歳代)
- 男女では体や脳の違いもあり、多少なり特性に違いがあるため、全て平等にとするのは難しいと思う。(権利の平等は必要とは思いますが)LGBT については、差別は良くないし自由にすれば良いと思うが、認めろ認めろ、許せ許せと権利ばかりを主張されてる気がして、息苦しく感じることも多い。(女性・40 歳代)
- 日本はまだまだ男性優位の社会が根強いと感じます。共働きでも家事、育児の負担は女性の方が多く、またそれをあたり前だと考える男性も少なくないと感じます。育児家事を女性がメインで担う風習がまだ根強いので、社会進出も進まず、正規で働く女性も少ない。企業側も、子供が小さいうちは正規雇用のまま柔軟な就労ができるよう配慮してもらえれば社会全体の女性進出も増えるのではと思います。(女性・40 歳代)
- 「これまで得た常識はすでに常識ではない」との思いから視野を広く持つように心がけている。(男性・50 歳代)
- そういう場をたくさんつくる。(男性・50 歳代)
- 相手を尊重する、理解することや、自分の考え方を押し付けないことを心掛けている。(男性・50 歳代)
- 日本という国と他の国との違いを考えず、L G B T 法を作るのは、如何なものかと思います。平等と公平にしばらくは事なく、柔軟な対応が必要なのかもしれませんが、大変ですよ。右でも左でもなく中央を進む事が本来の平等、公平に繋がるのかと考えます。(男性・50 歳代)
- いろんな人、いろんな考え、いろんな背景を持った人がいて、みんなが同じではなくていいし、得意、不得意があるのがあたり前だから、自分が苦なくできることは、他人にしようと思う。反対に、誰かには簡単なことでも、私には苦手なこともあるので、そういう時は、気軽にお願ひできるような関係がくれたらいいと思う。「ありがとう」「どういたしまして」が自然に言い合える社会になれたらいいと思う。(女性・50 歳代)
- 医療従事者、介護職員、保育園の先生等、がもっと働きやすく給与面も含め待遇改善し、従事したくなるような事がないと、人手不足が進みもっと負担が増えなりてがなくなってしまうし皆さん頑張っているのに報われない働きたくても子供を預けられなかったり、交通の不便も解消してもらえたら、元気な年配の方がいっぱいいるので協力してもらえたら有り難いと思う(女性・50 歳代)
- 一人一人の個人をお互いに大切に思いやる社会であってほしいと思います。(女性・50 歳代)

- 現状の生活を、維持しながら、地域の行事への参加、仕事の向上が出来れば良いと思います。現状の余力の中で、地域の行事や、学校の PTA の活動が、出来るようにしてもらいたい。今まで、強要された事があり、理不尽だと思う事があったので（女性・50 歳代）
- 古い固定観念を持った人がまだまだたくさんいます。なかでも地方の方がその傾向は強いと思われるので行政の力が必要だと思います。（女性・50 歳代）
- 子供の頃の経験が大事だと思う。家庭での教育と、学校での体験をしっかりとしないと、偏見を持ったまま大人になってしまう（女性・50 歳代）
- 若者の意識を「社会の在り方はこれが当たり前」にしていくことが必要だと思う。そのために、多様性の理解や共生社会づくりについて、メディアや SNS で広めたり、学校教育などで学習したりして欲しい。中高年の固定概念は変わらないが、若者や社会の変化によって理解する人も増えると思う。（女性・50 歳代）
- 性別による不利益はあってはならないと思う。年代によって、差別的な事を云う人がいるので、高齢の人にも、知ってもらいたい。（女性・50 歳代）
- 大人の意識を変えることは、なかなか難しいと思います。このため、まだ、まっ白な子ども達への教育が重要と考えます。人それぞれ感じ方や考え方がちがうこと、そして、何より相手を思いやることを幼い頃から子どもの心の中に育てていけると良いと思います。これからは、学業だけでなく、心を育てる教育が重要になってくるのではないのでしょうか？（女性・50 歳代）
- 認め合うこと（女性・50 歳代）
- 年齢を重ねると、新しい考え方を受け入れづらくなり、その考えを押し付けられるので、近所付き合いが億劫になり、都会に移住したくなります。もっとお互いを尊重し合わないと、山梨の人口は増えないと思います。（女性・50 歳代）
- 個人の能力、特性をみとめる。得意なことは伸ばし、不得意なことを無理して行わず、出来ることから少しずつ取り組むように話しながら行わせる。（男性・60 歳代）
- 私は来年で 65 歳になります。ふりかえてみますと、仕事と学会活動の生活でした。25 歳で創価学会に入信し、来年で 40 年になります。深い仏教の数学を学んだことは、人生にとってよかったと思います。宗教は独善になったり、宗教を利用する人や団体などがあり、怖い面があります。宗教のよしあしを判断する目をもつべきだと思います。月 1 回の座談会、老若男女が集い教会を学びあい、語りあう場は有意義だと思います。（男性・60 歳代）
- 大人になってからは遅いので子どもの時からの教えが必要と思う（男性・60 歳代）
- 単一民族、農耕民族の長年の「慣習」「しきたり」を変えることはたやすいことではないので、とにかく全員が意識を継続するのが大事だと思います。（男性・60 歳代）
- 働き方改革により人手不足など、企業のしわ寄せが多く、国がすべてを底辺から見直さなくては、男女共同参画などの実現は困難だと思う。すべてを認めていたら成り立たない。（男性・60 歳代）
- 内閣府の共生社会政策の情報が大変参考になりました。（男性・60 歳代）
- きのうまでインドからのお客さんが来ていました。国はちがっても、日本が大すきとってもらいました。人は、生き方、考え方、それぞれですが、家族や周りの人に迷惑かけずに過ごせたらと思います。男の人

が女装をしても、それも個性だと思います。小さい子供、お年寄りがこまっていたら、手を差しのべてあげたいです。少しでも力になりたい。（女性・60 歳代）

- どのような人も、人として尊重すべきことを、幼少期から伝えていくことが大切だと思っています。（女性・60 歳代）
- まずは身近な人を受け入れる、受け止めることから始まると思う。（女性・60 歳代）
- 衣食足りて礼節を知る。物価高騰で年金生活者は、生活費の出費の見直しを迫られています。若者は、高額バイトに手を出し罪を犯す。あらためて、この言葉をかみしめています。（女性・60 歳代）
- 皆、誰しも、一人ひとりの違いを認めあい、誰しもが協力しあい、個人個人の能力を出し合える日々をすごせる様な生活であって欲しいと願う。（女性・60 歳代）
- 自分の意見を自由に主張できる人間形成（個）と共に、地域社会の意識改革（社会）の共存（女性・60 歳代）
- 自分らしく、いきいきと生活していくことが理想です。（女性・60 歳代）
- 大人になってから自分の考えを改めたり、行動変容を起こすことはとても難しいと感じます。なので、幼少期からの家庭教育や学校教育等の中で「男女平等」「男女共生」が心の中に根付かれていくことが重要であると思います。（女性・60 歳代）
- 男性も育児休業をあたりまえに取れる世の中になればよいと思う。（女性・60 歳代）
- 偏見を持っている政治家が、選挙で落選してほしい。この国の政治家はろくでもない人物が多過ぎる。（女性・60 歳代）
- 「気軽に参加できる」というのが非常に難しく、参加するためには現場へ出かける必要があり、距離が遠いと「止めよう」ということになる。好きなときに、好きなことをできる「ネットワーク」のようなもので、いろんな人と情報交換ができればよいと思う。（男性・70 歳以上）
- 現実はまだ遠く。社会構造の根本的改革が必要と考えます。（男性・70 歳以上）
- 情報過多の時代にあって、我々は自ら考え判断する能力を喪失しつつあるように思います。次代を担う子供達には、大人の世界と切り離し、静かな環境で学ばせてあげたい。（男性・70 歳以上）
- 人を思いやる心の醸成が何より大切だと思う。人を人とは思わない人間が増えていると感じている。人生は人との関係なくしては成り立たないと考えているので、より良き社会の実現のため、まずは根本をしっかりと見つめる必要があるのではないかと思う。（男性・70 歳以上）
- 昔の封建的な考え、男尊女卑の考えが無くなるのが大事。特に高齢者はこの考えはなくなる。また、女性も、男性の後をついて行けば良いという考えを無くさなければ、男女共同参画にはならない。（長い時間が掛かると思います。）（男性・70 歳以上）
- 多様な社会の一面を共生、男女共同という言葉で決めつけることはとても難しい問題です（男性・70 歳以上）
- 男女平等に生活していく事や、性的な悩みを持つ人に対しての偏見はあってはならないと思っている。しかしながら現代社会において生活習慣の乱れや、個人主義、無関心などから、気がつかないうちに心が病んでしまって、表だつては見えないが、自分がよければ他人はどうでもいいという危険な心の持ちようになっていると感じる。今が楽しければいいんじゃないかという、後先を考えない人間が多くなってい

るのが大きな問題であり、男女平等という名の元で、責任が希薄になりがちである。例をあげれば、親の過失によっておこる子供の死亡事故がなんたる多い事か、驚かされる。人口減少が止まらない事は、はなはだしい。子供庁は何も手をうたないが・・・女性が働きやすくなる事は大変良い事だが、両親2人で共に子育てをする覚悟が、1人の人間を育てあげる責任でもあると思う。女性の活躍の場を提供する環境の充実を計る一方で、大人が人間として自分に甘えることなく、育っていかなければいけないので、その教育の場が必要である。(男性・70歳以上)

- 日本人は封建的な考えの人が多から、外国の人たちがたくさん周りにいる社会であればその考えが変わるかもしれない。外国人をどんどん受け入れる方策がほしい。(男性・70歳以上)
- 問3の内容--母が6月に死亡したので それまでの介護時間を含めて回答今は二人でまたは一人でそれぞれ家事の時間なので時間はわからない(男性・70歳以上)
- 一人ひとりの価値を尊重し受け入れ、他人を思いやる気持ちを育てるには、子供の時から家庭でのしつけ、学校の教育だと思う。その延長で共生社会がなりたっていくと思う。(女性・70歳以上)
- 学生時代は、それなりに男女平等に教育を受けていると思いますが、卒業して就職する段階になると、途端に男性優先となる現実につながります。男女の区別はあっても能力は個人差であると思います。古くからの慣習や考えにとらわれず、これからの時代を見る目を養い、誰でも自分のやりたいことを自信を持ってやれる世の中でありたいものです。特に、男性の意識改革を望んでいます。家事・育児・介護の時間についての記述で、休日の時間に気が付かず、書いてありませんが平日と同じです。すみませんでした。(女性・70歳以上)
- 関心を持ち、自分なりに理解を深めようと意識している。(女性・70歳以上)
- 結婚以前、以後、約50年の間仕事に従事して参りました。その間、両親の助けもありましたが、子育て期の大変さ、又両親の介護期の大変さも、仕事との両立で、嫌という程実感しました。夫婦で共に考え、協力し、それでも精神的に潰れそうになった時もありましたが、外部の方のサポートで、何とか乗り切ることが出来ました。その事はとても重要だと考えます。次第に、生きづらい厳しい社会に、又、多様性になっていく中で、孤立することは、とても危ういことだと思います。近くに相談出来る人がいる環境が大切で、その中で仕事が出来、生活がしてゆければ。又、どうしても女性は、家事、育児、介護に携わる時間が多く、仕事との両立が厳しくなります。男性の理解、協力がなければ、辛い暮らしとなります。今は、働く女性も多い社会全体の問題として、皆が考えてゆかねばならないと思います。今は、少しずつそのような事が考えられ、実際、進んでいる企業もありますが、まだまだもっと理解を深めてもらい女性の負担のかからない社会、暮らしになってほしいと思います。家庭の平和もそこから生まれ、又、そこから社会の平和にもつながるか。(理想かも知れませんが、のぞみます。)(女性・70歳以上)
- 健康で他人に迷惑をかけない生活をしていくこと。(女性・70歳以上)
- 今の社会、自由に意見も言えますし、生き生きと生活できると思います。(女性・70歳以上)
- 今は交通事故にあったり、自分の不注意で足を痛め手術をしたりして体をうごかしての参加は何も出来てはいないがどこかに災害があればいくばくかの義援金をださせていますので今後も続けていきたいと思っています。(女性・70歳以上)

- 子供の頃から個性 能力を発揮できる教育が必要。教師の考え方 接し方も重要。(女性・70 歳以上)
- 地域活動に協力して、コミュニケーションを図る。(女性・70 歳以上)